



平成26年度栃木県眼科医会総会開催報告

総務担当理事 福島 一 哉（宇都宮市）

- 日 時：平成26年5月11日(日)
午前11時30分～午後12時30分
- 場 所：自治医科大学研修センター
- 出席数：出席77名 委任状24名 計101名の
ため総会は成立
会員総数167名

開会挨拶 原 裕 会長

議事

1) 報告

- ①平成25年度栃木県眼科医会会務報告
総務担当副会長 吉澤 徹
- ②平成25年度栃木県眼科医会会計報告
経理担当理事 城山 力一
- ③平成25年度栃木県眼科医会会計監査報告
監事 宮下 浩
- ④学校保健の件
学校保健担当理事 苗加 謙心
- ⑤平成26年度第1回日本眼科医会定例臨時代議員会報告

代議員 原 裕

2) 協議

- ①平成26年度栃木県眼科医会事業計画の件
総務担当副会長 吉澤 徹
 - ②平成26年度栃木県眼科医会予算の件
経理担当理事 城山 力一
 - ③平成26～27年度役員の件
会長 原 裕
 - ④栃木県眼科医会一次救急診療当番の件
副会長 旭 英幸
 - ⑤栃木県眼科医会会則、栃木県眼科医会選挙規程、栃木県眼科医会一次救急規程の件の件
会長 原 裕
以上、賛成多数で了承された
- 健保研究会
保険担当理事 井岡 大治
- 閉会挨拶
副会長 旭 英幸

平成25年度栃木県眼科医会会務報告

栃木県眼科医会総会

総務担当理事 福島 一 哉（宇都宮市）

1. 総務関係

(1)会員数（H26. 3. 31. 現在）

A会員61名、B会員86名、C会員8名、M会員11名、合計166名

(2)会員の異動

入会者：4名

C 坂 本 晋 一（自治医大）
C 反 田 茉莉（自治医大）
C 加 藤 浩 士（足利赤十字病院）
C 武 村 千 紘（獨協医大）

転入者：2名

B 堤 瑛 理（国際医療福祉大学病院眼科）（東京都より）
B 春 野 功（国際医療福祉大学病院眼科）（神奈川県より）

転出者：3名

B 杉 恵 子（おちあい眼科）宮城県へ
B 松 井 英一郎（獨協医大）北海道へ
A 中 丸 周 一（東武眼科クリニック）東京都へ

退会者：1名

B 稲 葉 光 治（宇都宮市 稲葉眼科）

異動者：

①会員種別の変更

B→A 斎 藤 信一郎（小山市 斎藤眼科医院）
A→B 斎 藤 明 郎（小山市 齋藤眼科医院）

②勤務先変更

B 松 原 忠 之（済生会宇都宮病院）
B 永 澤 一 恵（吉沢眼科医院）

自宅住所変更

B 堀 秀 行（日光市 阿久津医院）
B 堀 こずえ（栃木医療センター）
B 佐 藤 彩（自治医大）
B 永 澤 一 恵（吉沢眼科医院）
B 細 井 文 子（のうか眼科）

(3)定例総会開催（1回）H25. 5. 12(日) 於：自治医大

(4)理事会開催（6回）

第1回	H25. 5. 15(水)	於：宇都宮市医師会館	
第2回	H25. 7. 17(水)	〃	
第3回	H25. 9. 18(水)	〃	
第4回	H25. 11. 13(水)	〃	
第5回	H26. 1. 15(水)	〃	
第6回	H26. 4. 16(水)	〃	

(5)中央及び関ブロ諸会議に出席

H25. 4. 13(土)	平成25年度日眼医定例臨時代議員会（東京）	原（裕）、吉澤（徹）出席
H25. 4. 14(日)	〃	原（裕）、吉澤（徹）出席
H25. 4. 14(日)	第1回日眼医代議員会総務経理合同常任委員会（東京）	原（裕）出席
H25. 6. 8(土)	平成25年度第1回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会開催（さいたま市）	宮下、原（裕）、出席
H25. 6. 8(土)	平成25年度第1回関ブロ男女共同参画委員会開催（さいたま市）	福島、安藤出席
H25. 6. 23(日)	平成25年度日眼医定例臨時代議員会（東京）	原（裕）、吉澤（徹）出席
H25. 10. 20(日)	日眼医都道府県眼科医会連絡会（東京）	吉澤（徹）出席
H26. 1. 26(日)	日眼医代議員会総務経理合同常任委員会（東京）	原（裕）出席
H26. 3. 2(日)	平成25年度第2回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会（横浜）	宮下、原（裕）出席

2. 経理関係

- (1)栃木県アイバンクの献眼運動協力募金
(2)会費の銀行口座よりの自動引落とし方式の推進

3. 学術関係

(1)栃木県眼科集談会

第65回	H25. 4. 12(日)	於：自治医大	91名出席
一般演題：8題			
特別講演：「日常の角結膜感染症診療における落とし穴」 佐々木香る 先生（星ヶ丘厚生年金病院 眼科）			
第66回	H25. 11. 15(金)	於：宇都宮市医師会館	74名出席
一般講演：6題			
特別講演：「フェムトセカンドレーザーによる角膜治療の現状」 妹尾 正先生（獨協医科大学眼科教授）			

(2)栃木県眼科医会研究会

第49回	H25. 6. 14(金)	於：宇都宮グランドホテル、ファイザー株式会社と共催	42名出席
1. 「糖尿病網膜症の硝子体手術アップデート」 佐藤幸裕 先生（自治医大糖尿病センター眼科教授）			
2. 「糖尿病網膜症の新しいレーザー治療について」			

大越貴志子 先生（聖路加国際病院眼科部長）			
第50回	H26. 1. 10(金)	於：宇都宮グランドホテル、日本アルコン株式会社と共催	
1. 「強度近視における黄斑疾患の考え方と手術治療」 生野恭司 先生（大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学（眼科学）講師）			
2. 「角膜の手術適応の考え方」 山上 聡 先生（東京大学大学院医学系研究科 角膜移植部部长）			

(3)獨協医大眼科栃眼医合同講演会

第36回	H25. 7. 26(金)	於：獨協医大	57名参加
1. 「進化し続ける流出路再建術」 陳 進輝先生（北海道大学大学院医学研究科眼科学分野診療教授）			
2. 「早期緑内障の発見術・治療術」 杉山和久先生（金沢大学医薬保健学域医学類視覚科学教授）			

(4)栃木眼科セミナー

第21回	H26. 2. 14(金)	於：ホテル東日本宇都宮、自治医大・興和創薬共催、当会後援	51名参加
ミニレクチャー：「自治医大眼科における強膜炎患者の臨床像」 吉田 淳 先生（自治医科大学眼科学講座 講師）			
特別講演：「糖尿病網膜症：最近の話題」 石橋達朗 先生（九州大学大学院医学研究院眼科学分野 教授）			

(5)下野眼科談話会

第23回	H26. 2. 28(金)	於：宇都宮グランドホテル、獨協医大主催、当会後援	75名参加
一般講演 4題			
特別講演「白内障研究—透明水晶体の維持のために」 黒坂大次郎 先生（岩手医科大学眼科学講座 教授）			

(6)栃木県内科眼科関連疾患懇話会

第7回	H25. 10. 17(木)	宇都宮グランドホテル	76名参加
講演1. 「眼科領域におけるステロイド使用とその合併症薬」 鈴木 重成先生（獨協医科大学 講師）			
講演2. 「ぶどう膜炎にプレドニン大量療法を施行した糖尿病の血糖コントロールの経過」 黒田 久元先生（グリーンクリニック院長）			

(7)栃木ぶどう膜炎カンファレンス

第3回	H25年10月4日(金)	於：宇都宮グランドホテル	55名参加
特別講演「ぶどう膜炎の診断と治療の進歩 - 感染性ぶどう膜炎を中心に」 望月 学 先生（東京医科歯科大学眼科 名誉教授）			

(8)栃眼医獨協眼科病診連携の会

第2回	H25年10月25日(金)	於：宇都宮グランドホテル	54名参加
-----	---------------	--------------	-------

「日常診療における中心性漿液性脈絡網膜症の診断と治療」	
須田 雄三 先生（獨協医科大学眼科 講師）	
「OCTによる脈絡膜画像診断 最近の話題」	
丸子 一郎 先生（東京女子医科大学眼科 特任講師）	

4. 医療安全対策及び福祉関係

(1)眼科コメディカル講習会	
講習会は関東各県共同主催（於：帝京大）	
(2)栃眼医親睦ゴルフコンペ	
第78回 H25. 4. 14(日) 太平洋アソシエイツ佐野ヒルクレストコース	6名参加
優勝：松島 優子 準優勝：柏瀬 宗弘	
第79回 H25. 10. 20(日) 宮の森カントリー倶楽部	8名参加
優勝：松島 雄二 準優勝：坂東 誠	
(3)栃眼医忘年会開催	
H25. 12. 6(金) 於：ホテルニューイタヤ	18名参加
(4)平成24年度日眼医眼科医事紛争事例調査実施	
栃木県内該当 0例	

5. 保険関係

(1)中央及び関ブロの会議	
H25. 5. 26(日) 日眼医全国審査委員連絡協議会（東京）	吉澤（徹）出席
H25. 6. 8(土) 関ブロ健康保険委員会（さいたま市）	吉澤（徹）出席
H25. 10. 20(日) 都道府県眼科医会健保担当理事連絡会（バーチャル）	井岡 出席
H26. 1. 27(月) 平成25年度都道府県眼科医会介護・在宅医療担当理事連絡会（バーチャル）	吉澤（徹）出席

(2)健保研究会

H25. 5. 12(日) 栃眼医総会と同時開催（自治医大）	
H25. 11. 15(金) 集談会後開催（宇都宮市医師会館）	

(3)栃木県社保国保審査委員（眼科）連絡会

H25. 6. 24(月) 宇都宮市医師会館	千葉、木村、宮澤、鈴木、吉澤（徹）、城山、井岡出席
H25. 11. 11(月) 宇都宮市医師会館	千葉、木村、宮澤、鈴木、吉澤（徹）、城山、井岡出席

6. 広報関係

(1)栃木県眼科医会報（第46号）発行（平成25年6月）	
(2)理事会だより（6回）発行	
(3)関ブロ会報編集委員会 H26. 2. 2(日)（横浜市）	大野出席
(4)関ブロ会報に「会長挨拶」「各県だより」「随筆」投稿	

(5)ホームページ更新	
-------------	--

7. 学校保健関係

(1)中央の会議に出席	
日眼医全国眼科学校医連絡協議会 H25. 9. 29(日)（東京）	苗加出席
(2)栃医学校保健部会理事会	
（第1回）H25. 9. 9(日) 護国会館	苗加出席
（第2回）H26. 1. 30(木) 護国会館	苗加出席

8. 公衆衛生関係

(1)栃木県眼科一次救急診療当番表を会員に送付	
(2)「目の愛護デー記念行事」準備委員会（8月1日(木) 宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階））	堤出席
(3)「目の愛護デー記念行事」（宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階））	
H25. 10. 6(日)	
14:00～15:00 目の健康講座：	
「目の病気を正しく理解しよう」	
自治医科大学眼科学講座教授 川島 秀俊 先生	
15:00～15:30 眼科無料相談会・無料眼圧測定	
相談員：茨木信博先生、早坂依里子先生、有澤武士先生、他栃眼医担当理事	
※広報活動	
・ポスター、ちらし配布	
・下野新聞に寄稿10月4日（金） 斉藤（哲）理事	
・新聞意見広告下野、読売各紙	
・栃木放送、広報	
(4)日本網膜色素変性症協会JRPS栃木支部医学講話	
H25. 9. 15(日)	講師：堤 雅弘 先生
(5)献眼募金箱（栃木県アイバンク）を各眼科受付に設置し募金運動に協力	

9. 医療対策関係

(1)平成25年度栃木県高度管理医療機器販売管理者継続研修会（H25. 12. 1（日）とちぎ健康の森）	96名出席
講演1 「薬事法その他の法令に関するもの」	
小林 由典 先生（栃木県保健福祉部 薬務課薬事審査担当）	
講演2 「コンタクトレンズによる乱視矯正」	
塩谷 浩 先生（しおや眼科院長）	

10. 勤務医関係

(1)関ブロおよび中央の会議に出席	
H25. 6. 8(土) 関ブロ勤務医委員会（さいたま市）	上田出席
H25. 11. 24(日) 第14回全国勤務医連絡協議会（東京）	上田出席
(2)栃木県眼科手術談話会	

第18回 H25. 5. 24(金) 於：宇都宮市医師会館 47名出席
一般演題：3題
特別講演：「緑内障の手術治療アップデート」
原 岳先生（原眼科病院 院長）

11. 日本眼科医連盟関係
(1)日眼医連盟協議委員会
H25. 10. 19(土)（東京） 吉澤（徹）出席
(2)本年度連盟会費納入者（当県分） 納入率 47%

株式会社 平和医用商会

代表者 代表取締役 柳 瀬 信 也

本 社 〒331-0825 埼玉県さいたま市北区櫛引町2-185-6
TEL 048-664-1503 FAX 048-652-5744

【宇都宮営業所】 〒321-0153 栃木県宇都宮市北若松原2-9-5
TEL 028-655-5527 FAX 028-655-5528

【東京営業所】 〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-24-702
TEL 03-5842-3501 FAX 03-5842-3502

【高崎営業所】 〒370-0062 群馬県高崎市稲荷町32-204
TEL 027-365-2790 FAX 027-365-2491

【新潟営業所】 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山5-14-77-A102
TEL 025-250-5707 FAX 025-250-5710

営 業 案 内

●眼科用医療器械・器具・備品・眼内レンズ・消耗品全般取扱い

●眼科光学器械の修理 ●眼科一般開業設備一式

平成25年度 栃木県眼科医会一般会計決算報告
自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

費 目		平成25年度 予 算	平成25年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	日 眼 医 会 費	21,000	0	－	21,000	
2	関プロ分担金	407,000	413,000	6,000	－	A × 62 B × 80 C × 5
3	眼 科 医 会 費	4,282,000	4,363,000	81,000	－	A × 62 B × 80 C × 5
4	入 会 金	150,000	0	－	－	
5	補 助 金	100,000	488,000	388,000	－	日本眼科医連盟 日本眼科医会、県医師会
6	そ の 他	1,000	1,238	－	－	利息
7	繰 越 金	5,002,573	5,002,573	0	－	
合 計		9,869,573	10,183,811	485,000	21,000	

費 目		平成25年度 予 算	平成25年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	日 眼 医 会 費	21,000	0	－	21,000	
2	関プロ分担金	407,000	411,000	4,000	－	
3	事 務 通 信 費	950,000	639,975	－	344,072	
4	総会学会補助	800,000	831,835	31,835	－	
5	出 張 費	400,000	335,000	0	115,000	
6	会 議 費	700,000	628,700	－	71,300	学校保健、会報編集など
7	慶 弔 費	100,000	100,070	70	－	
8	人 件 費	1,500,000	1,389,621	－	110,379	
9	そ の 他	100,000	117,700	17,700	－	
合 計		5,028,000	4,453,901	53,605	661,751	

10,183,811円－4,453,901円＝5,729,910円（平成26年度へ繰り越し）
上記会計報告を監査し適正な事を認証する。
平成26年 4 月 9 日 栃木県眼科医会監事 鈴木 隆二郎 ㊞
宮 下 浩 ㊞

平成25年度 医事対策費及び日本眼科医連盟会費収支決算報告

自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

収入の部

費 目		平成25年度 予 算	平成25年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	対 策 費	1,605,000	1,635,000	30,000	－	A × 62 B × 79
2	助 成 金	1,000,000	20,000	－	800,000	県厚生課
3	そ の 他	70,000	11,245	－	58,755	アイバンク祝い金 利息
4	繰 越 金	8,170,083	8,170,083	－	－	
合 計		10,845,083	10,016,328	30,000	858,755	

支出の部

費 目		平成25年度 予 算	平成25年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	事 務 通 信 費	710,000	536,620	－	179,459	ホームページ作成 管理費
2	一次救急交通費	1,000,000	301,460	－	831,410	H25年3月分：当会負担 H25年12,1,2月分未回収
3	行 事 開 催 費	400,000	320,215	－	58,415	目の愛護デー
4	広 告 費	750,000	571,875	－	178,125	新聞・ラジオ
5	そ の 他	1,050,000	155,170	－	896,830	障害保険 学校保健マニュアル
合 計		3,910,000	1,885,340	0	2,144,239	

10,016,328円－1,885,340円＝8,130,988円（平成26年度へ繰越し）

上記決算報告を監査し、適正な事を認証する。

平成25年4月9日 栃木県眼科医会監事 鈴木隆二郎 (印)
宮下 浩 (印)

平成25年度 栃木県眼科医会報会計報告

收入

前年度よりの繰越金	1 3 7,8 6 1 円
広告料 第 4 6 号 (2 9 社)	6 1 5,0 0 0 円
本 代	2 6,0 0 0 円
利 息	2 6 円
合 計	7 7 8,8 8 7 円

支出

第46号 印刷代	582,435円
郵便代、会報配送料	39,182円
事務消耗品	7,520円
合 計	629,137円

収 入	7 7 8,8 8 7 円
支 出	6 2 9,1 3 7 円
残 高	1 4 9,7 5 0 円 (平成26年度に繰り越し)

平成26年 3 月31日

栃木県眼科医会報編集委員長 大野 研 一 (印)

平成26年 4 月 9 日

栃木県眼科医会監事 鈴木隆二郎 (印)
宮下 浩 (印)

平成26年度 栃木県眼科医会事業計画

1. 総務部
- (1)定例総会開催（1回）
- (2)理事会開催（6回）
- (3)日眼医支部長会議、代議員会への出席と会議内容の会員への伝達
- (4)関プロ眼科医会連合会の各種会議への出席と会議内容の会員への伝達
- (5)日眼及び日眼専門医制度委員会連絡事務
- (6)男女共同参画の推進
2. 経理部
- (1)適正な会費の検討及び会費徴収法等の合理化の検討
3. 学術部
- (1)栃木県眼科集談会の開催（2回）
- (2)獨協医大眼科栃眼医合同講演会の開催
- (3)栃木県眼科医会研究会、日本医師会・その他の生涯教育活動（講演会、症例検討会等）の企画、開催、後援
- (4)各種学会その他の学術行事に関する会員への案内
4. 医療安全対策及び福祉部
- (1)眼科コメディカル講習会の開催
- (2)眼科コメディカル講習会スライド複製の貸出
- (3)諸種会員親睦行事の企画、実施
- ゴルフ（2回）、その他の趣味の会の開催、懇親会、忘年会等の企画
- (4)医療事故防止対策
5. 保険部
- (1)全国審査委員連絡協議会出席と会議内容の会員への伝達
- (2)各都道府県健保担当理事連絡会出席と会議内容の会員への伝達
- (3)審査委員との連絡強化と適正な保険医療の検討
- (4)健保研究会、及び勤務医会員、新規開業会員対象の保険診療講習会の開催
- (5)点数改正説明会の開催
- (6)社保国保審査委員連絡会開催

6. 広報部
- (1)会報発行（年1回）
- (2)理事会だより発行（年6回）
- (3)関プロ会報編集会議への出席
- (4)一般対外啓蒙活動の推進（検眼、CL取り扱いに関する正しい知識、視力回復センター等に関する啓蒙活動等）
- (5)対内、対外広報IT化推進（ホームページ管理）
7. 学校保健部
- (1)全国眼科学校医連絡協議会出席と会議内容の会員への伝達
- (2)健康相談としての色覚検査の実施
- (3)学校保健委員会の活用と養護教諭への啓蒙活動の推進
- (4)学校保健活動のための教材、啓発資料の整備、貸し出し
- (5)眼科学校医アンケート調査の実施
8. 公衆衛生部
- (1)栃木県眼科一次救急診療
- (2)目の愛護デー記念行事
- (3)アイバンク事業への協力
- (4)県感染症サーベイランス事業への協力
- (5)糖尿病に関する病診連携の推進
9. 医療対策部
- (1)非医師の医業類似行為問題、特にコンタクトレンズ違法処方事例への対応
- (2)栃木県高度管理医療機器販売管理者継続研修会開催
10. 勤務医部
- (1)勤務医会員の抱える諸問題の検討
- (2)栃木県眼科手術談話会の開催
- (3)関プロ勤務医委員会および全国勤務医連絡協議会出席と会議内容の会員への伝達

平成26年度 栃木県眼科医会一般会計予算

収入の部

費 目		平成25年度 予 算	平成26年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	日 眼 医 会 費	21,000	0	－	21,000	
2	関プロ分担金	407,000	407,000	－	0	A×61B×86C×8
3	栃 眼 医 会 費	4,188,000	4,188,000	－	0	A×61B×86C×8
4	入 会 金	150,000	150,000	－	0	
5	補 助 金	100,000	200,000	100,000	－	
6	そ の 他	1,000	1,000	－	－	
7	繰 越 金	5,002,573	5,613,787	611,214	－	
合 計		9,869,573	10,559,787	711,214	21,000	

支出の部

費 目		平成25年度 予 算	平成26年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	日 眼 医 会 費	21,000	0	－	21,000	
2	関プロ分担金	407,000	407,000	－	－	
3	事 務 通 信 費	950,000	950,000	－	－	
4	総会学会補助	800,000	1,800,000	1,000,000	－	第38回眼科手術学会
5	出 張 費	450,000	400,000	－	50,000	
6	会 議 費	700,000	600,000	－	100,000	
7	慶 弔 費	100,000	100,000	－	－	
8	人 件 費	1,500,000	1,500,000	－	－	
9	そ の 他	100,000	500,000	400,000	－	養護教員への啓発講演
合 計		5,028,000	6,257,000	1,400,000	171,000	

平成26年度 栃木県眼科医会医事対策費予算

収入の部				比 較		備 考
費 目		平成25年度 予 算	平成26年度 予 算	増	減	
1	対 策 費	1,605,000	1,635,000	35,000	－	A × 61 B × 86 C × 8
2	助 成 金	0	200,000	20,000	－	
3	そ の 他	70,000	10,000	－	60,000	
4	繰 越 金	8,170,083	8,261,658	91,575	－	
合 計		9,845,083	10,106,658	146,575	60,000	

支出の部				比 較		備 考
費 目		平成25年度 予 算	平成26年度 予 算	増	減	
1	事 務 通 信 費	710,000	110,000	－	600,000	ホームページ管理費
2	行 事 開 催 費	400,000	400,000	－	－	
3	広 告 費	750,000	750,000	－	－	
4	そ の 他	1,050,000	200,000	－	850,000	障害保険
合 計		2,910,000	1,460,000	0	1,450,000	

平成26年度 栃木県眼科医会年会費

内 訳	A 会 員	B 会 員	C 会 員	準 会 員
関 プ ロ 会 費	4,000	2,000	1,000	0
栃 眼 医 会 費	52,000	13,000	3,000	52,000
医 事 対 策 費	20,000	5,000	0	20,000
合 計	76,000	20,000	4,000	72,000

平成26年度栃木県眼科医会会費納入のお願いが届き次第、お振込願います。

※ 自動振込機（A T M）からのお振込も可能ですのでご利用ください。

〔足利銀行 江曾島支店 店番号109 口座番号3799666 普通預金〕

〔栃木県眼科医会 会計 城山 力一〕

※ 尚、お振込の際、振込者氏名欄は所属病院名ではなく、個人名（フルネーム）にてお願い致します。

栃木県眼科医会役員 平成26年度

	顧 問	会 長	副会長	理 事	監 事
那 須	斎藤 武久	原 裕			
塩 谷				高橋 雄二	
上 都 賀			吉澤 徹	堤 雅弘、細川美奈子	鈴木隆次郎
宇 都 宮	田口 太郎 早津 尚夫		旭 英幸	大久保 彰、苗加 謙応 福島 一哉、早津 宏夫	宮下 浩
下 都 賀				城山 力一、斉藤 哲也 石崎 道治	
小 山				蘇 沽訓、大柳 静香	
佐 野				大野 研一	
足 利	柏瀬 宗弘			井岡 大治	
芳 賀					
自 治	川島 秀俊 佐藤 幸裕			小幡 博人、牧野 伸二	
獨 協	妹尾 正			松島 博之、後藤 憲仁	
公的病院				上田 昌弘	

栃木県眼科医会理事職務分担表 平成26年度

	担当副会長	担当理事（正）	担当理事（副）
総 務	吉澤（徹）	福島	井岡、早津（宏）、細川
経 理	吉澤（徹）	城山	蘇
学 術	旭	大久保（彰）	小幡、牧野、松島（博）、後藤、早津（宏）
医 療 安 全 対 策 及 び 福 祉	旭	斉藤（哲）	石崎、井岡、堤（雅）
保 険	吉澤（徹）	井岡	城山、蘇
広 報	旭	大野	小幡、後藤、大柳
学 校 保 健	旭	苗加	斉藤（哲）、大柳、細川
公 衆 衛 生	吉澤（徹）	堤（雅）	福島、高橋（雄）、早津（宏）
医 療 対 策	旭	高橋（雄）	斉藤（哲）、堤（雅）
勤 務 医	吉澤（徹）	上田	牧野、小幡、松島（博）、後藤



平成25年度栃木県眼科医会忘年会開催報告

医療安全対策及び福祉担当理事 齊 藤 哲 也（栃木市）

平成25年度栃木県眼科医会忘年会は、平成25年12月6日(金)に宇都宮ホテルニューイタヤにて行われました。18名の会員の先生方の出席がありました。今回、余興としてエレクトーン演奏がありました。エレクトーンの美しい音色のなか、和やかに楽しい忘年会であったことをつけ加え、報告とさせていただきます。

ホテルニューイタヤ（敬称略）

吉 澤 徹	吉沢眼科医院	大 野 研 一	大野眼科クリニック
旭 英 幸	旭眼科内科クリニック	石 崎 道 治	石崎眼科
稲 葉 全 郎	稲葉眼科	城 山 力 一	しろやま眼科
柏 瀬 宗 弘	柏瀬眼科	加 藤 健	かとう眼科
松 島 博 之	獨協医科大学	堤 雅 弘	つつみ眼科クリニック
鈴 木 重 成	獨協医科大学	坂 本 晋 一	自治医科大学
高 橋 佳 二	獨協医科大学	高 橋 雄 二	たかはし眼科
宮 下 浩	宮下眼科	阪 下 直 樹	参天製薬
原 裕	原眼科医院	山 口 雄 司	参天製薬
反 田 茉 莉	自治医科大学	稲 垣 雅 基	千寿製薬
齊 藤 哲 也	さいとう眼科医院	仲 川 亜 里	千寿製薬



平成25年度関ブロ会報編集委員会報告

広報担当理事 大 野 研 一（佐野市）

●日 時：平成25年2月2日（日）12時～14時

●場 所：新横浜プリンスホテル

●出席者：

神奈川県 種 田 芳 郎（関ブロ世話人・支部長）
小 口 和 久（関ブロ運営部担当副会長）
奥 脇 賢 一（関ブロ運営部担当理事）
秋 山 修 一（関ブロ会計担当理事）
津 田 玄一郎（関ブロ会報担当理事）
山 田 荒 太（関ブロ会報担当理事）
茨 城 県 中 村 悦 子（編集委員）
栃 木 県 大 野 研 一（編集委員）
群 馬 県 馬 場 敏 生（編集委員）
千 葉 県 田 村 雅 弘（編集委員）
埼 玉 県 服 部 浩 一（編集委員）
山 梨 県 保 坂 理（編集委員）
長 野 県 永 田 征 士（編集委員）
新 潟 県 中 山 徹（編集委員）

第50回関東甲信越眼科学会が平成26年6月14日、6月15日に千葉県で開催される。担当県である千葉県が、表紙、巻頭挨拶および関東甲信越眼科学会の講演抄録を担当する。

第49回関東甲信越眼科学会の印象記、各委員会報告は埼玉県が担当する。

日眼医報告を小沢 忠彦先生（茨城県）、目の健康講座を神奈川県が担当する。

会長のことば、各県だより及び随筆は各県とも提出する。

栃木県からは、会長のことば：原裕会長、各県だより：原裕先生、随筆、エッセイ：石崎道治先生の「石崎家の人々・5代目誠庵」、編集子囁言：大野研一を提出した。

議題：関ブロ会報43号の編集について

発行予定日 平成25年4月26日

原稿締切日 平成25年3月29日



平成25年度「目の愛護デー」記念行事報告

公衆衛生担当理事 堤 雅 弘（宇都宮市）

本年度も、平成25年10月6日(日)宇都宮市保健センターにおきまして、「目の愛護デー」記念行事を開催いたしました。会場の関係で今年は午後2時より「目の健康講座」を開催しました。本年は自治医科大学眼科学教室教授 川島秀俊先生をお招きし「目の病気を正しく理解しよう!」と題しまして、御講演いただきました。参加者は94名と多くの方にご来場いただき、講演後の質疑応答も多くの方にご参加いただけておりました。講演会に引き続き、午後3時から午後4時まで「目の健康相談」を開催しました。相談員は有澤武士先生・茨木信博先生・早坂依里子先生・及び栃木県眼科医会理事数名で行いました。相談者数は51名と多くの方にご参加いただき、予定時間をオーバーするほど皆さん熱心にご相談されておりました。ま

た開催時間中、眼科関連メーカーの皆様の協力にて、「眼圧無料測定」を行いました。こちらも盛況で参加者は66名でした。

本年度も県の実施する、地域医療に係わる県民協働事業に認定され、県からの助成もいただいております。今後も栃木県、宇都宮市、また地域住民とより良い連携を取りつつ盛大に開催できればと期待しております。

最後になりましたが、休日にもかかわらずご参加ご協力頂きました皆様には厚く御礼申し上げます。そして来年度以降も盛況なものにしていきたいと存じますので、会員の皆様におかれましては、これからもご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



第79回栃木県眼科医会親睦ゴルフコンペ 一言コメント

松島 雄二 様 老人組が私一人で淋しい。もっと人数を増やしたい。
坂東 誠 先生 寒くてつらいゴルフでした。次回は晴れますように・・・。
石崎 道治 先生 大雨の中、レジェンドが生まれる。
大久保 彰 先生 大雨の中、ジ・エンドでした。
茨木 信博 先生 飛ばなくなりました。もともとですが。
稲葉 全郎 先生 雨の中、ティーアップを低くしてピンクのドライバーでラウンドしましたが、ハーフで中止。新ペリアの穴も当たらずでした。

中村 恭子 先生 コンペでなければ不参加でした。今度は天気の良い日にやりたいです。
松島 優子 様 こんな大雨の中、プレー出来ただけで良かったかな？コンペでなければとうにやめてました。

高橋 佳二 先生 中々中止決められず大変でした。一人だけ続けたい先生がいたようで・・・。
木村 政彦 様 大雨の中大変なゴルフとなりました。天気の良い時にリベンジしたいです。
阪下 直樹 様 雨の日のゴルフの難しさを改めて実感しました。天気の良い日にまたチャレンジしたいです。

河内久美子 様 あいにくの雨で残念でした。晴れた日に気持ち良くプレーが出来る様、アプローチの練習を頑張ります。

稲垣 雅基 様 雨の中ご一緒頂いた松島先生ご夫妻にご迷惑をお掛け致しました。ご一緒頂き有難うございました。



ゴルフコンペ成績表

平成25年10月20日
宮の森カントリー倶楽部

	NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET		NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET
1	松島 雄二	40		40	3.6	36.4	8	中村 恭子	59		59	19.2	39.8
2	坂東 誠	51		51	14.4	36.6	9	松島 優子	57		57	16.8	40.2
3	石崎 道治	50		50	12	38	10	高橋 佳二	49		49	8.4	40.6
4	大久保 彰	50		50	12	38	11	阪下 直樹	56		56	13.2	42.8
5	茨木 信博	53		53	14.4	38.6	12	河内久美子	65		65	21.6	43.4
6	稲葉 全郎	46		46	7.2	38.8	13	稲垣 雅基	100		100	27.6	72.4
7	木村 政彦	52		52	13.2	38.8							

第80回栃木県眼科医会親睦ゴルフコンペ 一言コメント

- 茨木 信博 先生

パートナーに恵まれ、久しぶりに良い成績でした。又、宜しくをお願いします。
- 石崎 道治 先生

ついに4月で壁を破ったか。48、39で30台ができました。
- 高橋 佳二 先生

今日中、肘が痛くて駄目でした。次回に期待！
- 稲葉 全郎 先生

珍しくバーが1つだけのゴルフでした。ババワトリン（マスターズで今年2回目の優勝者）と同じピンクのドライバーを使いましたが……。こんなハズではなかった。
- 大久保 彰 先生

キャディーがプレー中に無駄話が多くて困った。しばらくは宮の森CCではプレーしたくないね。
- 中村 恭子 先生

今回も天気が心配でしたが、何とか曇りでプレー出来ました。
- 板東 誠 先生

今年も楽しくゴルフができました。秋も頑張りたいと思います。
- 阪下 直樹 様

事前に練習しましたが、スコアは駄目でした。また次回頑張ります。
- 木村 政彦 様

なんとか天気はもってくれましたが、スコアが・・・でした。次回は頑張りたいと思います。
- 稲垣 雅基 様

前は雨の中のゴルフでしたが、今年は雨も降らずに天候に恵まれました。練習して当日に挑みましたが結果は振るわずご迷惑をお掛けしました。



ゴルフコンペ成績表

平成26年4月20日
宮の森カントリー倶楽部

	NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET		NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET
1	木村 政彦	55	51	106	30	76	6	中村 恭子	56	58	114	36	78
2	石崎 道治	48	39	87	10.8	76.2	7	稲葉 全郎	47	49	96	18	78
3	阪下 直樹	57	62	119	42	77	8	板東 誠	45	50	95	15.6	79.4
4	高橋 佳二	52	47	99	21.6	77.4	9	大久保 彰	48	56	104	24	80
5	茨木 信博	42	49	91	13.2	77.8	10	稲垣 雅基	85	81	166	75.6	90.4



栃眼医理事退任挨拶

安 藤 緑（足利市）

平成25年を持ちまして、理事を退任させていただくことになりました。

女性理事一人と知り、当初とまどいましたが、原会長を始め理事の皆様に温かく迎え入れてくださり、大変感謝しております。

大した仕事も出来ませんでした、関プロ男女共同参画委員会に出席させていただき、他県の先生方と交流を深めたり、改めて女医に関わる諸問

題を考えさせられたこと。眼科医会のそれぞれのテーマを理事の皆様が様々な角度で論議して下さっていることにより私達が潤滑な日常診療を行っていることと認識できたことは、いづれも大変貴重な体験となりました。

今後はこの経験を生かし、日常診療に励んでいく所存です。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

会員のつづき

稲葉 全郎（稲葉眼科）

青い瞳に恋をする ターコイズグリーン
ターコイズブルー 猫眼 キャッツアイ
ブラジルのモルフォ蝶 宮下先生のオパールに感謝

大野 研一（大野眼科クリニック）

5月21日、天皇、皇后両陛下が佐野市の郷土博物館に立ち寄られました。私の医院からクルマで1分位の所ですが診療のため見にいけず残念。

原 裕（原眼科）

4月には、NHKの外国語講座のテキストを買います。今年はイタリア語を行きま

す。ただ、毎年6月号までたどり着けません。

柏瀬 宗弘（柏瀬眼科）

名誉院長として毎週水曜日診療している。薬の名前が色々変わるの、覚えていくのに大変である。未だ元気なので今秋はミャンマーに行こうと思っている

高橋 秀徳（自治医大）

硝子体注射枠が2年間で週4件から75件に増えました。PCVを対象に治療費の補助される治験も夏から計画中です。今後ともご支援頂ければ幸いです。



栃眼医理事に就任して

大 柳 静 香（下野市）

本年度より栃木県眼科医会理事を務めさせていただきます、下野市の大柳静香と申します。

私は、平成3年に福島県立医大を卒業後、同大学眼科医局に入局、平成7年に主人の転勤を機に転居し、獨協医科大学眼科に入局しました。平成

16年から生まれ育った下野市で開業しています。

今回理事を経験させていただいて、自分の視野を拡げ、また眼科医会に少しでも貢献できるよう、微力ながら頑張りたいと思います。今後とも御指導をよろしくお願いいたします。



栃眼医理事に就任して

細 川 美奈子（鹿沼市）

細川内科外科眼科の細川美奈子と申します。獨協医大眼科学教室にお世話になったのち平成19年5月に鹿沼市で開業し7年になります。この度栃木県眼科医会理事に就任させて頂くことになりました。

開業は大学病院での勤務と異なり、まわりに相談したり意見を聞ける先生もいなく、この環境になれるのに随分時間がかかっている現状です。未

だに獨協医大、自治医大の両大学病院には、多数の紹介状を書き大変お世話になっています。

年齢とともに体力が1番だと最近強く感じるようになり、毎日のランニングをはじめました。今後は栃木県眼科医会の力になれるよう努力していきたいと思う所存です。

御指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

会員のつぶやき

有澤 武士（ありさわ眼科クリニック）

老眼を実感できる年齢に成長しました。

宮下 博行（獨協医大）

NHO栃木病院での休日診療へのご協力、ありがとうございます。今年度もよろしくお願いいたします。

鈴木 重成（獨協医大）

最近、なるべく運転しないようにしています。徒歩、自転車、電車で見える光景はとても新鮮で、あたらしいお店を発見することもあります。

福島 一哉（福島眼科医院）

消費税 院内処方 大赤字／30円 スズメの涙か 再診料／値上がりは おいらの出来ない 手術だけ／仕方ない グチはここまで 仕事しよ

吉澤 浩子（吉沢眼科）

昨年五十肩で右手が使えず、左手で患者様の左目を反転してました。今年はもう痛みも日常生活に支障がでるような運動制限もなくなりました。ヤレヤレ。

会員のつぶやき

宮澤 敦子（宮澤眼科クリニック）

NHKの朝の連続ドラマ「花子とアン」の原本「アンのかご」の中に、日本で初めての英和辞典のことが書いてあります。完成させたヘボン博士は宣教師で眼科医師でした。

石崎 道治（石崎眼科）

ゴルフが下手だ！キャディさんのアドバイスは聞かない。攻激的ゴルフ。そういえばハンドルを握ると……。

森谷 充雄（もりや眼科）

ダイエットのためにマラソンをしています。しかし、マラソンをすると食事がおい

しくなってしまうみたいです。体重がなかなか減らずに困っています。

松島 博之（獨協医大）

今年は、やる気ある研修医が3名入局しました。医局員の活性剤となって、モチベーションも上がりプラスのサイクルが回っています。この流れが続きますように。

斉藤 哲也（さいとう眼科医院）

小6の子供の運動会に今年も出席できませんでした。雨が降って翌日の日曜日に延期になればと今年も思っていたが残念ながら予定通りでした。



獨協医大の近況

獨協医大眼科 医局長 永田 万由美

栃木県眼科医会会員の皆様には、平素より大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。平成26年5月現在、当科は、妹尾正教授以下19名の常勤医（レジデント4名含む）、女医支援枠3名、非常勤講師5名、非常勤助教1名で構成されており、済生会宇都宮病院3名、うつのみや病院1名、西大宮病院1名、那須赤十字病院1名、那須南病院1名、石橋総合病院1名、吉田眼科病院（函館）1名、小沢眼科病院（茨城）1名、計10名の学外派遣医がおります。

外来は、7診～8診体制で行っており、毎日、会員の皆様から多くの患者様をご紹介いただき、感謝しております。相変わらず患者様には長時間お待ちいただく状態が続いており、大変ご迷惑をおかけしています。遠い大学病院までわざわざ来ていただいておりますので、患者様の病態を正確に把握し、患者様にとって最善の治療法を選択できるよう、医局員一同努めていきたいと考えております。最近Heidelberg社のSPECTRALIS®が導入され、加齢性黄斑変性症をはじめとする網膜疾患に対し、さらに詳細な画像検査ができるようになりました。また、ORTも1名増え、少しでも患者様の待ち時間が少なくなるよう外来スタッフ一丸となって頑張ってくれています。

手術に関しては、昨年より当院にもAlcon社のConstellation®が導入され、難症例の手術にも対応しやすくなりました。手術件数も、角膜移植58件、白内障手術1637件、網膜硝子体手術779件と年々増加傾向にあります。医局員一同協力し、夜遅くまで緊急対応している状態です。並列での手術が可能になるため、Constellation®がもう一台あれば・・・と懇願しておりますが、現在のところ財政は厳しいようです（泣）。更に、長年にわたり当科の外来、緊急手術を支えて下さった高橋佳二先生が、今年の3月で退職されたことも大きな

痛手となっています。

しかしながら、本年は医局にとって、とてもうれしいニュースがありました。それは、小藪幸貴子医師、西田奈央医師、宮島大河医師、計3名のレジデントが入局してくれたことです。当科の医局員は皆とても仲が良かったです。ここ数年レジデントの入局が少なく、医局員の平均年齢が上がるばかりで、大変寂しい思いをしておりました。そこで昨年は医局の威信をかけて、眼科勧誘イベント「DOCの会（DOC:DokkyoOphthalmicConference）」を開催しました。眼科学の魅力、眼科医の日常、子供を持つ女医さんからのアドバイスなどの講演を行い、白内障手術のウェットラボやレーザー治療のdemonstrationなど、実際の眼科手技に触れてもらうこのイベントには、10名のレジデントが参加してくれました。この甲斐あってか、今年は明るく元気な努力家3人が入局してくれました。医局の雰囲気もすっかり若返り、医局全体のモチベーションも著しく向上しています。

さて、2015年度は獨協医大が第38回日本眼科手術学会総会を担当することになりました。テーマは「未来へのまなざし」です。栃木県眼科医会会員の皆様には多大なご支援をお願いすると思いますが、医局員一同頑張っていきますので、何卒よろしくお願いいたします。当科のホームページ（<http://www.dokkyomu-eye.com>）もリニューアルし、診療内容や総会案内を載せていますので、是非ご覧ください。

最後になりましたが、若い活気ある医局員が増え、幸か不幸か医局長も私に代わり、新生の獨協医大眼科学教室ですが、妹尾教授を中心として益々発展していきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



自治医大の近況

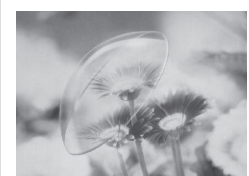
自治医大眼科 医局長 牧野 伸二

平素より、栃木県眼科医会の先生方にはたいへんお世話になりありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。

自治医大附属病院は開設から40年が経ち、眼科外来のリニューアルが昨年10月に完了致しました。外来手術室も2つに増えましたが、硝子体注射の激増も予想され、連日やり繰りに奔走しているのが現状です。

昨年の2名に続き本年度も2名が入局し、教授

以下14名となりました。まだまだ余裕を持って、診療、教育、研究を維持することは厳しい状況であることには変わりありませんが、医局員一丸となって、一般外来、病棟業務、手術にあたっております。手術待ちの患者さんも多く、ご迷惑をおかけしておりますが、先生方のご要望に添えるように、また、若い力の成長も期待して、医局員一同努力したいと考えておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

	新世紀の装用感 酸素透過性ハードコンタクトレンズ ニチコンEX-UV Ex-UV 医療機器承認番号21100BZX00261000		円錐角膜用デザイン 酸素透過性ハードコンタクトレンズ ROSE K2™ 医療機器承認番号22100BZX00522000
日本コンタクトレンズ ☎(03)5645-7110		東京都中央区日本橋箱崎町1番7号 千歳ビル4階	お問い合わせ コンタクトレンズは高度管理医療機器です。 必ず眼科医の検査・処方を受けてお求めください。

新規開業のご挨拶



～新規A会員・院長就任のご挨拶～

井上眼科医院 **井 上 直 紀**（大田原市）

栃木県眼科医会会員の先生方には、日頃より大変お世話になっております。

この度、大田原市の井上眼科医院院長に就任いたしました。

私は平成13年に獨協医科大学を卒業後、順天堂大学に入局いたしました。約11年間勤務しまして、平成24年4月より井上眼科医院副院長として勤務、平成26年4月より父である現理事長・井上成紀の退任に伴い、院長に就任いたしました。

副院長として勤務した2年間で、開業の難しさを痛感しております。幸いに近隣の先生方や、大学時代にお世話になった先生方のお力添えがいた

だけますおかげで、心強く修行を続けている毎日です。

院長就任後は中断しておりました白内障手術を再開させるなど、外来・手術の充実に努めております。

新院長に就任しました現在、理事長の影響力の大きさには敵いませんものの今までに体得しました知識と経験を駆使して、地域医療の質の向上と継続に尽力したい所存です。

眼科医会の諸先生方には、これまで以上にご指導・ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願いいたします。



～新規A会員・院長就任のご挨拶～

関本眼科医院 **関 本 慎一郎**（市貝町）

栃木県眼科医会の先生方には日頃から大変お世話になり、感謝申し上げます。平成26年4月1日より芳賀郡市貝町の関本眼科医院を父より継承し、院長に就任いたしました。

私は平成11年順天堂大学を卒業後、順天堂医院、順天堂練馬病院、日本赤十字社医療センターなどに勤務し、平成23年6月より副院長として関本眼科医院で診療に従事してまいりました。栃木に戻ってから約3年が経過し、ようやく地域の皆様に顔と名前を覚えていただけてきたようです。

忙しい勤務医時代の外来では、患者さんとお話

しする時間がなかなか取れませんでした。今は丁寧で分かりやすい説明を心掛け、ゆっくり診療を行っております。また、地域の眼科医療施設として、当院で可能な限りの治療を行いたいと考えておりますが、高度な専門的治療が必要な場合でも、交通事情などで大きな病院まで行けない患者さんも多く、毎日悩みながらの診療です。

まだまだ勉強不足で分からない事も多く、眼科医会の諸先生方には御迷惑をお掛けすることと存じますが、今後ともご指導いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

会員のつづき

城山 カー（しろやま眼科）

とちまるネット運用講習会に参加しました。御報告を待たずに、患者さんの状況を知ることが出来る。こちらは電子カルテでなくとも大丈夫です。

吉澤 徹（吉沢眼科）

最近、孫をさずかりまして、すっかりお爺ちゃんポジションにハマっています。デレデレであります。

柏瀬 光寿（柏瀬眼科）

今年の足利花火大会は第100回記念だ！！8月2日（土）が楽しみだぞ～！！

上田 昌弘（国際医療福祉大学塩谷病院）

今年4月に鹿沼に引越しました。矢板にいたときは病院まで自転車です。今は車で50分。病院に着いただけでタメ息です。

久保田 芳美（くぼた眼科）

最近眼瞼腫瘍の手術を受けました。患者さんの気持ちりが体感できました。H先生どうも有難うございます！

新入会員自己紹介



～新規A会員・院長就任のご挨拶～

斎藤眼科医院 斎藤 信一郎（小山市）

平成25年4月に小山市斎藤眼科医院の院長に就任致しました。

日頃より県内の医療機関の皆様、両大学の皆様にはクリニックの運営にお力添えを頂き、厚くお礼を申し上げます。

私は、1996年（平成8年）に獨協医科大学を卒業し、同年より自治医科大学眼科学教室に入局、宇都宮済生会病院でもお世話になり、2003年（平成15年）に副院長として斎藤眼科医院に入りました。今思えば短い研修期間でしたが、退局後も周りの先輩方にご指導していただき何とか地域医療に貢献できる技量がついたと感じております。

当院は、1890（明治22）年頃佐野に曾祖父の斎藤常五郎が眼科を開業し、私で4代目。皆様に支えられながら123年にわたり共に歩んでまいりました。昨年の医療法人化で、さらに『医療法人斎藤眼科医院』が飛躍できるように、白内障手術や網膜硝子体疾患治療のレベルアップを目標に日々格闘しております。これからも地域の『大事な』眼科医療機関として全力投球、さらなる研鑽を積んで実践していく所存でおります。これまで同様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



反田 茉莉
（自治医科大学眼科）

この度、栃木県眼科医会に入会させていただきました反田茉莉です。よろしくお願い申し上げます。

大学までは地元の山梨で過ごし、平成23年に山梨大学を卒業しました。初期臨床研修を自治医科大学附属病院で行い、平成平成25年に自治医科大学眼科学講座に入局致しました。

栃木県は生まれ育った山梨県とどこか似ている部分があるように思い、第二の故郷として、すっかり馴染んだところです。

大学在学中より、眼科には少し興味がありましたが、初期研修でローテーションしたときに、眼という小さい器官の奥深さを感じ、また、診断治療まで一貫して携わることができることに魅力を感じました。

分からないことばかりで日々新しいことの連続ですが、上級医の先生方は教育にも熱い方ばかりで、厳しくも温かい指導の下、充実した毎日を過ごしています。

「こうなりたい！」と思う先生方が多くいらっしゃる環境で働くことができ、とても恵まれていると思っております。

大変未熟でして、栃木県眼科医会の先生方にはご迷惑をおかけすることが多々あると思います。日々、診療・学びに精進してまいりますので、今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。



堤 瑛理
（国際医療福祉大学病院眼科）

この度、栃木県眼科医会に3度目の入会をさせていただきました堤 瑛理と申します。よろしくお願い申し上げます。

平成6年に金沢医科大学を卒業後、北里大学眼科に入局。平成10年の上都賀総合病院出向時に初めての入会をさせていただきました。結婚後から、夫の転勤に供ない栃木県暮らしが重なり、平成20年からの3年間と、この度の2回、国際医療福祉大学病院に勤務させていただいております。

今まで3回の育休復帰を経ながら、とにかく仕事を継続していこうと考えてまいりましたが、そのうちにはまた本腰を入れて、と思ううちに、いつの間にか医師になり一定の期間が過ぎてしまいました。最近は、ライフワークを見つけ、自分の地域貢献の方法を考えてゆきたいと思っております。

栃木県眼科医会の先生方には、日々大変お世話になり、感謝いたしております。

これからも、どうぞよろしく御指導くださいますようお願い申し上げます。



坂 本 晋 一
(自治医科大学眼科)

この度、栃木眼科医会に入会させていただきました坂本晋一と申します。よろしく願い申し上げます。

平成23年に山形大学を卒業し、自治医科大学附属病院にて初期研修を行い、平成25年に自治医科大学眼科学講座に入局いたしました。同病院で現在眼科の基礎を学んでおります。眼科を志したきっかけは、学生実習の際の豚眼実習にて眼科手術の奥深さに触れたことでした。初期研修の際に、実際に患者さんを診察し手術前後の経過をみることで、視覚の重要性とその改善に伴う喜びに魅了され、眼科の道に進むことを決心しました。自分でも徐々に白内障手術を行わせて頂き、少しずつですが自分で手術を行った方が、視力を回復し喜ぶ姿を見ることができ日々の励みとなっています。まだまだ、未熟者のため毎日右往左往しながらですが、上級医の先生のご指導のもと忙しくも充実した日々を送っています。また、5月にアメリカにて行われたARVOにて、口演発表させて頂く機会を与えて頂き、大変良い勉強となりました。これからも学ぶことが多く、栃木眼科医会の先生方にはご迷惑をおかけするものと思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しく願い致します。



武 村 千 紘
(獨協医科大学眼科)

この度、栃木眼科医会に入会させていただきました武村千紘と申します。よろしく願いいたします。

平成23年に獨協医科大学を卒業し、杏林大学病院で初期研修を行いました。研修医2年目の12月中旬より産休を頂き、元旦に出産し平成25年に獨協医科大学眼科学教室に入局後、同年10月に職場復帰させて頂きました。

復帰前は育児との両立で不安な面もありましたが、上級医の先生方より丁寧な御指導頂き、またとても恵まれた環境で日々学ばせて頂けることに大変感謝しております。まだまだ未熟ではありますが、少しずつ対応できる事が増え大変嬉しく思うと共に、今後も日々自己研鑽を積んでいきたいと思ひます。育児との兼ねあいで手術に参加できなかったりと、周囲の先生方には大変御迷惑をお掛けしています。少しでもお力添えになれるよう色々なことを経験していきたいです。

栃木県眼科医会の先生方には今後とも御迷惑をお掛けしますが、これからもご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

栃木県眼科集談会のあゆみ

栃木県眼科医会顧問 早 津 尚 夫

栃木県眼科集談会の設立は比較的遅く、発足したのは昭和56年のことであった。他県より遅れたのは、当県が長らく無医大県であったためである。当県内には現在、自治医大と獨協医大があるが、両医大の附属病院が診療を開始したのは共に昭和49年で、その頃の当県眼科医会主催の学術行事といえ、年1回開催される年次総会の折の眼科講習会のみであった。

集談会設立のきっかけとなったのは、当時庶務担当理事であった筆者が、当時の会長稲葉六郎先生の推挙により、日本眼科医会理事になった昭和55年で、日眼専門医制度準備委員会がスタートし、生涯教育の気運が高まり始めた頃であった。中央の会議に出席するようになって痛感したのは、先進県に比べての当県の著しい立ち遅れ。会則もなく会報も出していない。理事会の定例開催もなく、「目の愛護デー」行事などの公衆衛生活動も何もやっていない等もあったが、集談会などの地方会が全くないことがその最たるものであった。

まず何よりも集談会の早急な発足こそ焦眉の急と、稲葉会長に進言、ゴーサインをいただき、当時の学術担当理事原孜先生のご賛同を得、両医大のうち親しくさせていただいていた獨協医大小暮文雄教授に先ず相談、同教授から同医大関亮主任教授、自治医大清水昊幸教授に呼びかけていただき、円滑に実現の運びとなった。

集談会は栃木県眼科医会主催行事として毎年春、秋の2回開催とし、春は総会時併催とする。一般講演は両医大から各3題、公私立病院や開業会員から3題、両医大の若い先生方の研究発表の場とするが、討論の時間を十分に取、遠慮のない活発な意見交換を行う。開業会員からは話題提供のような形で臨床経験談など肩の凝らない演題を出していただく。特別講演は、春は他県から御高名な教授をお招きする。秋には県内両医大の教

授、助（准）教授、講師クラスの先生方に専門領域の新知見等を解説いただく。一般講演の座長は両医大の助（准）教授、特別講演の座長は会長が務める、等の骨子がまとまった。

第1回栃木県眼科集談会は昭和56年5月24日（日）獨協医大で開催された。一般講演は10題、特別講演は、順天堂大学中島章教授他2名の先生方で演題「コンタクトレンズの臨床的応用」。器械展示等も行われ賑々しいスタートとなった。

第2回は同年10月18日（日）自治医大で開催。一般講演11題、特別講演は自治医大澤充講師の「角膜の臨床検査法」であった。

4年目の昭和59年4月から専門医制度がスタートし、本集談会も生涯教育認定事業となり、1回3単位取得できるようになった。この年から会場が春は自治医大、秋は宇都宮市医師会館に変更された。また、「年2回も貴重な日曜日がつぶれるのはもったいない」という理由から、秋は金曜日の夜間開催となった。遠方の会員にとっては診療終了後出席するのがやや厳しくなった。

上記の体制はその後現在までそのまま維持され、1回も欠けることなく順調に続いている。昨秋第66回が開催され、平成26年の今年は34年目となる。出席者も春は会員の3分の2近く、秋も半数を越え、極めて盛況である。これもひとえに自治、獨協両医大の歴代教授はじめ医局員各位の絶大なるご指導、ご協力の賜物と厚く感謝申し上げたい。

眼科臨床紀要第7巻第4号より転載

桶狭間古戦場巡り

齊 藤 哲 也（栃木市）

平成26年秋に、愛知県名古屋市にある桶狭間（おけはざま）古戦場巡りをしてきました。今までも関ヶ原や、長篠の戦の古戦場を巡るなどしてきましたが、今回は今川義元の敗走路を推定しながら、約10キロの道があるきまぐちゃってしました。実は、桶狭間近辺にいったのは、今回で三度目なのですが、前2回は城や砦見学が目的でしたので、織田信長が中島砦を出撃してから今川義元の首をとるまでの推定ルートを巡るのは初めてだったのです。

桶狭間の戦いは、若き日の織田信長と海道一の弓取りといわれた今川義元との戦いです。松平元康（のちの徳川家康）も今川方の武将として参加し、丸根砦を落としています。今川方の城である大高城と鳴海城の二つの城を信長が封鎖するためにたくさんの砦を築いたことにより起きた戦いといわれています。義元は二つの城を助けるために出陣しました。

さて、桶狭間の戦いという小兵力の織田信長が多勢の今川軍にみつからないように義元の本陣まで迂回路を通り接近、丘の上から義元の本陣を見下ろし集中豪雨のなか奇襲攻撃して義元を討ったといわれてきました。この話は江戸時代初期の作家である小瀬甫庵（おぜはあん）の書いた「信長記」がもとになっているとのこと。しかし、藤本正行氏が約20年前に正面攻撃説を唱え、今はこの説が支持されています。藤本氏は信長の家臣で弓の名手でもある太田牛一（おおたぎゅういち）の書いた「信長公記」を元にこの説を唱えました。太田牛一はこの戦いに直接参加し、信長と家臣の会話まで記録してくれています。この信長公記に奇襲攻撃は書いてありません。信長公記を元に話を進めていくと、永禄3年（1560）に四万五千の大軍を率いる今川義元が、大高城と鳴海城を信長軍から助けるために駿河の国から進軍してきまし

た。信長は二千の兵で善照寺砦に集結、さらに中島砦へと移動しました。「この移動の道は、一騎ずつしか通れない狭い道で道の両側は深田であり味方の兵力が少ないことが敵に分かってしまう。」と家臣達から反対されました。即ち、今川方の最前線から信長軍の動きが手にとるようにわかってしまっていたということです。このことから、今川軍が高地のどのあたりに本陣を構えたのかで歴史家たちの研究は進んでいるようです。例えば藤井尚夫氏は漆山を本陣と推定しています。

私の今回の旅は、近鉄線鳴海駅を下車、すぐ近くの中島砦から始まりました。この砦は川と川にはさまれた小さな砦です（写真1）。旧東海道が城内を通過していますが、この時代もやはり東海道だったのでしょう。砦の東側の道路は、S字状に曲がっており、ここが食い違いの虎口であり、大手門と思われます（写真2）。写真3は、南側の川に沿った道ですが、漫画家の江川達也氏が一騎打ちの道と呼んだ道と思われすが、その説どおりなら、周囲はドロドロの深田で、踏み入ることもできなかったのでしょうか。この後私は漆山からおけはざま山（山といってもこのあたり一帯の高地のことらしい）を歩きまくり、やっとのことで今川義元戦死の地といわれる田楽坪（でんがくつば）へたどり着きました。現在この場所は公園となっており、義元の首を洗ったという水場や近くから出土した義元の墓碑があります。戦のあとしばらくは近くの深田や湿地から鎧がでてきたそうです。この地は名古屋市緑区ですが、もうひとつ義元戦死の地と伝わる場所があります。そこまでいくのには、すでに住宅地となっているおけはざま山に登りさらに山を下りてゆきます。そして豊明市の義元戦死伝承地につきます。ここは、旧東海道の目の前の公園で国指定史跡となっています。近鉄線の駅前にあり、観光客も圧倒的に多く、

きっと江戸時代の参勤交代の大名達もここをおとずれ戦国の世に思いを寄せたのでしょう。今回の旅はまさしく足が棒になるほどの、五時間の強行軍でしたが、少年の頃の夢がまた一つかなったのですから、大満足の度でした。次はどこの中世城郭にいくか、また夢をかなえたいと思います。

参考文献

歴史群像シリーズ 信長の合戦

藤井 尚夫著 学研

桶狭間合戦の真実 江川 達也 リイド社

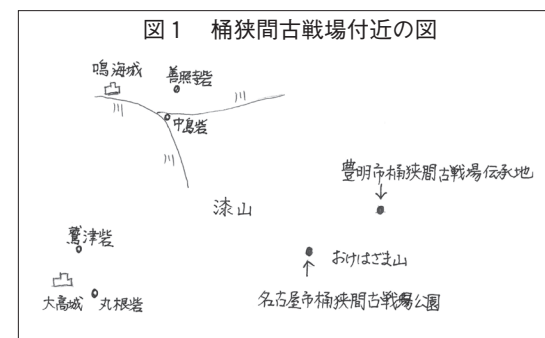


写真1 中島砦 川と川に挟まれた小さな砦



写真2 中島砦 食い違いの虎口か？平成11年10月の写真



写真3 江川氏のいう一騎打ちの道？



写真4 名古屋市桶狭間古戦場公園（田楽坪）



写真5 おけはざま山、田楽坪付近を見下ろしている



写真6 豊明市義元戦死伝承地 義元の墓

平成25年度 栃木県アイバンク募金 協力医療機関への御礼

公衆衛生担当理事 堤 雅 弘（鹿沼市）

栃木県眼科医会会員の皆様におかれましては、平素アイバンク募金へのご協力を賜り誠にありがとうございます。

現在募金の回収が5月の総会時に直接アイバンクの方に直接手渡すという形になっております。各医療機関の皆様にはお手を煩わすかたちとなり誠に恐縮です。それにもかかわらず、平成25年度も24の医療機関のご協力を得て、合計176,113円の募金を頂きました。

お手数おかけしますが今後とも募金活動のご協力をお願い申し上げます。

協力医療機関一覧は以下のとおりです（順不同・敬称略）

旭眼科内科クリニック・稲葉眼科・江曾島眼科医院・田口眼科医院・永田内科眼科医院・
のうか眼科・浜田眼科医院・福島眼科医院・宮下眼科医院・吉沢眼科医院・つつみ眼科ク
リニック・しろやま眼科・石崎眼科・自治医大眼科学講座・大柳内科眼科・加藤眼科医院・
城南眼科クリニック・鈴木眼科医院・原眼科医院・宮沢眼科クリニック・柏瀬眼科・中静
眼科医院・国際医療福祉大学塩谷病院・参天製薬㈱

ご協力ありがとうございました

お し ら せ

1. 日眼医通信の転送を希望される方へ

現在、日本眼科医会では「日眼医通信」というメールマガジンを発行しています。

日眼医のホームページによれば「理事会速報、ホームページ更新情報、その他、会員の皆様のお役に立つ速報性のある情報提供手段」とされています。（詳しくは日眼医ホームページ参照）

メールマガジン「日眼医通信」を希望される方は下記のメールアドレスに、氏名、所属、メールアドレスを送ってください。

登録いただければ、日眼医からの日眼医通信を受け次第、転送いたします。

Eメール publicity-tochigi@swan.ocn.ne.jp

栃木県眼科医会 広報担当 大野研一（大野研一）

会 務 日 誌

（平成25年4月～
平成26年3月）

平成25年

4月13日(土)・14日(日)

- 平成25年度第1回日眼医定例代議員会、定例総会（キャピトル東急ホテル）
原（裕）、吉沢（徹）出席

4月14日(日)

- 第78回栃眼医親睦ゴルフコンペ
（太平洋アソシエイツ佐野ヒルレストコート）
12名参加
優勝：松島（優）、準優勝：柏瀬（宗）

4月14日(日)

- 日眼医代議員会総務・経理合同常任委員会
（日眼医事務所） 原（裕）出席

5月12日(日)

- 平成25年度栃木県眼科医会総会
- 健保研究会
- 第63回 栃木県眼科集談会（自治医大）
一般演題：8題
特別講演：
「日常の角結膜感染症診療における落とし穴」
佐々木香る 先生
（星ヶ丘厚生年金病院 眼科）
91名出席

5月15日(水)

- 平成25年度第1回栃眼医理事会（宇都宮市医師会館）
原（裕）、旭、吉沢（徹）、大久保（彰）、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋（雄）、斉藤（哲）、堤、石崎、早津（宏）、蘇、牧野、後藤、宮下、柏瀬（宗）、川島 21名出席

5月23日(木)

- 栃木県アイバンク献眼慰霊祭 原（裕）出席

5月24日(金)

- 第18回栃木県眼科手術談話会（宇都宮市医師

会館）

一般演題：3題

- 特別講演：「緑内障手術治療アップデート」
原 岳 先生（原眼科病院院長）
47名出席

6月8日(土)

- 平成25年度第1回関プロ支部長会議
（さいたま市 大宮ソニックシティ）
原（裕）出席
- 平成25年度第1回関プロ連絡協議会
（さいたま市 大宮ソニックシティ）
原（裕）、宮下出席
- 関プロ男女共同参画委員会
（さいたま市 大宮ソニックシティ）
安藤、福島出席
- 関プロ健康保険委員会
（さいたま市 大宮ソニックシティ）
吉澤（徹）出席
- 関プロ勤務医委員会
（さいたま市 大宮ソニックシティ）
上田出席

5月26日(日)

- 日眼医全国審査委員連絡協議会
（東京プリンホテル） 吉澤（徹）出席

6月14日(金)

- 第49回栃眼医研究会（ファイザー製薬と共催、宇都宮グランドホテル）
1）「糖尿病網膜症の硝子体手術アップデート」
佐藤幸裕先生（自治医大眼科教授）
2）「糖尿病網膜症の新しいレーザー治療について」
大越貴志子先生（聖路加病院眼科部長）
42名出席

6月23日(日)

- 平成25年度第2回日眼医定例代議員会、定例総会（ザ・キャピタル東京）
原（裕）、吉沢（徹）出席

6月24日(月)

- 平成25年度第1回栃木県社保国保審査委員会連絡会（宇都宮市医師会館）
千葉、木村、宮澤、鈴木（隆）、吉沢（徹）、城山、井岡出席

7月17日(水)

- 第2回栃眼医理事会（宇都宮市医師会館）
原（裕）、旭、吉沢（徹）、大久保（彰）、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋（雄）、斉藤（哲）、堤、石崎、安藤、早津（宏）、蘇、松島（博）、宮下 19名出席

7月26日(金)

- 第36回獨協医大眼科栃眼医合同講演会（獨協医大）
1）「進化し続ける流出路再建術」
陳進輝先生（北海道大学大学院医学研究科眼科学分野診療教授）
2）「早期局内症の発見術・治療術」
杉山和久先生（金沢大学医薬保健学域医学類 視覚科学教授）

8月1日(木)

- 「目の愛護デー」打合せ会宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階） 堤出席

9月8日(日)

- 平成25年度第1回県医師会学校保健部会理事会（護国会館） 苗加出席

9月15日(日)

- 日本網膜色素変性症協会JRPS栃木支部医学講話 堤（雅）出席

9月18日(水)

- 第3回栃眼医理事会（宇都宮市医師会館）
原（裕）、旭、吉沢（徹）、大久保（彰）、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋（雄）、斉藤（哲）、堤、石崎、安藤、早津（宏）、蘇、宮下 18名出席

9月29日(日)

- 日眼医全国眼科学校医連絡協議会（東京グランドホテル） 苗加出席

10月1日(木)

- 第7回 栃木県内科眼科関連疾患懇話会（宇都宮グランドホテル）
1）「眼科領域におけるステロイド使用とその合併症薬」
鈴木重成先生（獨協医大眼科講師）
2）「ぶどう膜炎にプレドニン大量療法を」
黒田久元先生（グリーンクリニック院長）

10月4日(金)

- 第3回 栃木ぶどう膜カンファレンス
1）「ペーフェット病における最近の進歩」
大野重昭先生（北海道大学眼科 教授）

10月6日(日)

- 「目の愛護デー記念行事」（宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階））
目の健康講座：「目の病気を正しく理解しよう」
川島 秀俊 先生（自治医科大学眼科教授）
眼科無料相談会・無料眼圧測定
相談員：茨木、早坂（依）、有澤、他栃眼医担当理事

10月19日(土)

- 日眼医連盟協議委員会（東京グランドホテル） 原（裕）出席

10月20日(日)

- 平成25年度日眼医都道府県眼科医連絡会議（東京グランドホテル） 吉澤（徹）出席

10月20日(日)

- 日眼医都道府県眼科医会保険担当理事連絡会（バーチャル） 井岡出席

10月20日(日)

- 第79回栃眼医親睦ゴルフコンペ

（宮の森カントリー倶楽部）

13名参加

優勝：松島（雄）、準優勝：坂東

11月11日(月)

- 平成25年度第2回栃木県社保国保審査委員会連絡会（宇都宮市医師会館）
千葉、木村、宮澤、鈴木（隆）、吉沢（徹）、城山、井岡出席

11月13日(水)

- 第4回栃眼医理事会（宇都宮市医師会館）
原（裕）、旭、吉沢（徹）、大久保（彰）、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋（雄）、斉藤（哲）、堤、石崎、早津（宏）、蘇、牧野、後藤、宮下 19名出席

11月15日(金)

- 第66回栃木県眼科集談会(宇都宮市医師会館）
一般講演 8題
特別講演「フェムトセカンドレーザーによる角膜治療の現状」 妹尾正（獨協医大眼科教授）
○健保研究会 74名出席

11月24日(日)

- 日眼医全国勤務医連絡協議会（東京グランドホテル） 上田出席

12月6日(金)

- 栃眼医忘年会（東武ホテルグランデ）18名出席

12月1日(日)

- 栃木県コンタクトレンズ販売管理者継続研修会（とちぎ健康の森）
1）「薬事法その他の法令に関するもの」
小林 由典 先生（栃木県保健福祉部 薬務課薬事審査担当）
2）「コンタクトレンズによる乱視矯正」
塩谷 浩 先生（しおや眼科院長） 96名出席

平成26年

1月10日(金)

- 第48回栃眼医研究会（日本アルコンと共催、宇都宮グランドホテル）
1）「Hybridmonovision」
清水公也先生（北里大学医学部眼科教授）
2）「すぐに役立つ白内障手術トピックス」
松島博之先生（獨協医科大学眼科准教授）

1月27日(月)

- 平成25年度都道府県眼科医会介護・在宅医療担当理事担当理事連絡会（バーチャル） 井岡出席

1月15日(水)

- 第5回栃眼医理事会（宇都宮市医師会館）
原（裕）、旭、吉沢（徹）、大久保（彰）、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋（雄）、斉藤（哲）、堤、早津（宏）、蘇、松島（博）、宮下 17名出席

1月26日(日)

- 日眼医代議員会総務経理合同常任委員会（東京プリンスホテル） 原（裕）出席

1月13日(月)

- 平成25年度第1回眼科コメディカル講習会（帝京大）

1月30日(木)

- 平成25年度第2回県医師会学校保健部会理事会（護国会館） 苗加出席

2月2日(日)

- 関プロ会報編集委員会（横浜プリンスホテル） 大野出席

2月16日(日)

- 平成25年第2回度眼科コメディカル講習会（帝京大）

2月14日(金)

- 第21回栃木眼科セミナー（自治医大、興和創

薬共催、当会後援、ホテル東日本宇都宮） 1）「加齢黄斑変性と後部硝子体剥離の関連」 高橋 秀徳 先生 （自治医科大学眼科学講座 講師） 2）「BRVOの臨床」 飯島裕幸 先生 （山梨大学大学院医学工学総合研究部眼科学講座 教授）	3月2日(日) 。平成25年度第2回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会（ホテルキャメロットジャパン横浜） 宮下、原（裕）出席 3月23日(日) 。平成25年第3回度眼科コメディカル講習会（帝京大） 4月16日(水) 。第6回栃眼医理事会（宇都宮市医師会館） 原（裕）、旭、吉沢（徹）、大久保（彰）、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋（雄）、斉藤（哲）、堤、石崎、安藤、早津（宏）、蘇、小幡、後藤、宮下 20名出席
2月28日(金) 。第23回下野眼科談話会 （獨協医大、MSD製薬共催、当会後援、宇都宮グランドホテル） 一般講演4題 特別講演「白内障研究—透明水晶体の維持のために」 黒坂大次郎 先生 （岩手医科大学眼科学講座 教授）	

会 員 消 息

（平成25年4月～平成26年3月）

入会者：4名

C	坂 本 晋 一（自治医大）
C	反 田 茉莉（自治医大）
C	加 藤 浩 士（足利赤十字病院）
C	武 村 千 紘（獨協医大）

転入者：2名

B	堤 瑛 理（国際医療福祉大学病院眼科）	東京都より
B	春 野 功（国際医療福祉大学病院眼科）	神奈川県より

転出者：3名

B	杉 恵 子（おちあい眼科）	宮城県へ
B	松 井 英一郎（獨協医大）	北海道へ
A	中 丸 周 一（東武眼科クリニック）	東京都へ

退会者：1名

B	稲 葉 光 治（宇都宮市 稲葉眼科）
---	--------------------

異動者：

①会員種別の変更

B→A	斎 藤 信一郎（小山市 斎藤眼科医院）
A→B	斎 藤 明 郎（小山市 斎藤眼科医院）

②勤務先変更

B	松 原 忠 之（済生会宇都宮病院）
B	永 澤 一 恵（吉沢眼科医院）

自宅住所変更

B	堀 秀 行（日光市 阿久津医院）
B	堀 こずえ（栃木医療センター）
B	佐 藤 彩（自治医大）
B	永 澤 一 恵（吉沢眼科医院）
B	細 井 文 子（のうか眼科）

	緑内障・高眼圧症治療剤 ハイパジール^{ユー}点眼液0.25% 【ニブラジロール点眼液】薬価基準収載	挿入器付後房レンズ アバンシTM プリセット 高度管理医療機器 承認番号：22100BZX00979000	後房レンズ アバンシTM NATURAL UV 高度管理医療機器 承認番号：218008ZZ10026000 単回使用眼内レンズ挿入器 メドショットTM 管理医療機器 認証番号：219AGBZX00138000
	●効能・効果、用法・用量、禁忌・使用上の注意等は添付文書をご参照ください。		
	製造販売元 興和株式会社 販売元 興和創薬株式会社 （資料請求先）東京都中央区日本橋本町三丁目4-14 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14		
	14.5 作成		

自治医科大学眼科外来診察担当者

(H26年7月現在)

	月	火	水	木	金	土
午 前	川 島 新 井 渡 辺	牧 野 高 橋 渡 辺 反 田	小 幡 佐藤(彩) 大河原 新 井 渡 辺	佐 藤 佐藤(彩) 渡 辺 坂 本 反 田	吉 田 新 井 坂 本 反 田 ぶどう膜外来 川 島 網膜硝子体外来 佐 藤 高 橋 大河原	
午 後	緑内障外来 原 国 松	角膜外来 小 幡	弱視斜視外来 牧 野	黄斑外来 高 橋 竹 澤 佐藤(彩)	弱視斜視外来 牧 野	

獨協医科大学眼科外来診察担当者

(H26年7月現在)

	月	火	水	木	金	土
午 前	妹 尾 松 島 須 田 永 田 後 藤 中 村 荒 川	千 葉 鈴 木 永 田 石 丸 竹 村 青 瀬 吉 澤	松 島 須 田 鈴 木 大沼(修) 佐 藤 青 瀬 斎 藤	千 葉 大沼(修) 石 丸 斎 藤 中 村 宮 下 吉 澤	妹 尾 高 橋 後 藤 佐 藤 山 下 宮 下 武 村	輪番制
午 後	屈折矯正外来 後 藤 千 葉	ぶどう膜外来 鈴 木 吉 澤 武 村	黄斑外来 須 田 大沼(修) 中 村 周産期センター 〈NICU〉 後 藤 斎 藤 ロービジョン 鈴 木	角膜外来 千 葉 大沼(修) 石 丸 中 村 武 村 斜視・弱視 早 津 宮 下	前眼部解析 松 島 後 藤 青 瀬 斎藤(文)	

平成25年度 眼科コメディカル講習会修了証授与者（28名）

金 田 幸 子（吉沢眼科医院）	渡 邊 朋 美（もりや眼科）
岩 崎 夕貴子（回生眼科）	落 合 有紀子（もりや眼科）
大 島 三 奈（柏瀬眼科）	山 中 雅 代（もりや眼科）
岩井田 彩 香（柏瀬眼科）	篠 原 紀 子（もりや眼科）
小 西 真 妃（原眼科医院）	渡 邊 美 幸（たかはし眼科クリニック）
松 本 麻奈美（原眼科医院）	生 井 陽 子（いばらき眼科クリニック）
京 極 佳 奈（原眼科医院）	阿 部 智 美（いばらき眼科クリニック）
星 利 果（原眼科医院）	沼 尾 登美恵（いばらき眼科クリニック）
酒 井 歩 美（青木眼科医院）	鈴 木 有 巢（いばらき眼科クリニック）
蓬 田 庸 子（石崎眼科）	石 川 朋 子（いばらき眼科クリニック）
高 野 文 子（伊野田眼科クリニック）	鷲 頭 圭 子（いばらき眼科クリニック）
小 松 小百合（伊野田眼科クリニック）	長 崎 洋 子（いばらき眼科クリニック）
岩 下 美 穂（もりや眼科）	星 奈 眞利枝（金子眼科）
大 場 彩 子（もりや眼科）	伊 藤 沙由美（金子眼科）

～平成25年度 眼科コメディカル講習会～

平成25年度は、受講者28名中全員が4／5 以上出席し、28名が修了証を受けとることとなりました。
おめでとうございます。

医療安全対策理事 齊藤 哲也

表紙の言葉

半月山駐車場より登山道を20分ほど歩くと展望台に到着します。眼下には中禅寺湖、正面に男体山、左奥には戦場ヶ原を望むことができます

八丁出鳥の名前の由来は沖に突き出た長さが八丁（約870m）からきているようです。国際的観光地日光にはまだまだ見所がたくさんありそうです。

半月山展望台：中禅寺湖スカイラインの終点、半月山駐車場から徒歩20分

文・写真 大野研一（佐野市）

栃木県眼科一次救急診療規程

(目的)

第1条 この規程は、県民の休日における眼科一次救急診療確保のために定めるものである。

(構成)

第2条 栃木県眼科医会会員のうち、基幹病院に勤務する会員を除く70歳未満の医師で構成する。

(対象日)

第3条 診療の対象日は、日曜日、祝祭日および年末年始（12月30日から1月3日）とする。

(当番目)

第4条 当番目の順番については総会で会員の承認を得て決定する。
2. 当番日の都合が悪くなった場合は、各自交代する医師を決定し、本会事務局、診療施設、タクシー会社への報告を義務とする。

(受付時間及び受付業務)

第5条 受付時間は、午前10時から午後5時とし、受付業務は当該施設事務職員が行うものとする。

(診療時間)

第6条 診療時間は、受付時間内に受付した患者の診療が完了するまでとする。

(診療室)

第7条 診察室は、NHO栃木医療センター（以下、「医療センター」という）眼科診察室とする。

(看護師および医療器具)

第8条 看護師は当該診療施設勤務の看護師とし、医療器具は当該診察室のものを使用する。

(給与)

第9条 眼科一次救急診療を行った者には、医療センターと本会の契約により、医療センター臨時医師給与規程に基づいて当該病院より給与が支給される。

(通勤手段)

第10条 通勤は、県全域すべて契約タクシーを利用する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、理事会の決議を経て決定する。

付 則 この規程は平成26年5月11日より施行する。

栃木県眼科医会選挙規程

(趣旨)

第1条 この規程は、栃木県眼科医会主催で、行われる選挙について定めるものである。

(選挙管理委員長)

第2条 会長は、選挙を公正かつ円滑に推進するため、正会員の中から選挙管理委員長を選任し理事会の承認を経て、委嘱することができる。但し、理事はこれを兼任することはできない。
2 前項の選任を行ったとき、会長は、その旨を本人に通知しなければならない。
3 選挙管理委員長は、選挙管理委員会の開閉、開票の管理及び当選人の決定その他選挙の管理に関し、必要な事務を行う。

(選挙管理委員)

第3条 選挙管理委員長は、正会員または名誉会員の中から選挙管理委員を選任し理事会の承認を経て、委嘱することができる。但し、理事はこれを兼任することはできない。
2 前項の選任を行ったとき、選挙管理委員長は、その旨を本人に通知しなければならない。

(選挙管理委員会)

第4条 選挙管理委員会は選挙管理委員長と選挙管理委員で構成される。
2 選挙管理委員会の事務局は本会事務局に置く。
3 選挙管理委員会は選挙人名簿の作成管理をする。
4 選挙管理委員会は選挙の被選挙人（以下「立候補者」という）の受付及び資格審査を行い該当立候補者に対して立候補の受理を通知する。
5 選挙管理委員会は立候補者の公示をする。
6 選挙管理委員会は立候補者が規程人数より多い場合には、選挙管理委員会名で選挙実施通知書、投票用紙及び投票用紙封入用の封筒を会員宛に送付する。投票用紙には栃木県眼科医会の印を押印する。
7 選挙管理委員会は投票用紙の管理を行う。
8 選挙管理委員会は投票の有効又は無効の判定することができる。
9 選挙管理委員会は選挙録の作成しなければならない。
10 選挙管理委員会はその他選挙に必要な事項を遂行する。

(立候補の届出)

第5条 立候補者は、選挙の告示日に正会員として在籍している者とし、別紙に定める所定の立候補届出書を選挙管理委員会に提出する。

(選挙の方法)

第6条 選挙は、選挙人の無記名投票により行う。
2 前項の投票は、選挙管理委員会が送付した所定の投票用紙による郵便投票により行う。
3 前項の郵便投票は、選挙人に投票用紙が届いた時から選挙の期日までに行い、選挙期日の消印は有効とし、期日以降の消印は無効とする。

(投票の方法)

第7条 選挙人は、立候補者のうちから、1名を投票用紙に記載し、選挙管理委員会宛に郵送する。
2 選挙管理委員会は、郵送された投票用紙を厳重管理し、投票締切日が経過した後に開封する。
3 定数を超えない場合は、立候補者を当選とし、定数を上回る場合には、得票数の多い順に定数

栃木県眼科医会会則

の枠に達するまでの者を選任する。ただし、同数の場合は、選挙管理委員長が定める方法による。
(開票立会人)

第8条 選挙管理委員長は、予め正会員の中から開票立会人5人以内を指名し、開票に立ち合わせる
ことができる。ただし、立候補者は開票立会人になることはできない。

(無効投票)

第9条 次の投票を無効とする。

- (1) 正規の投票用紙を用いないもの、又は所定の記載方法によらないもの。
- (2) 前項以外の事項は、選挙管理委員会が、開票立会人の意見を聞き、有効・無効を判定する。

(開票)

第10条 開票は、選挙管理委員会の指揮監督の下において、開票立会人が立会って行う。

- 2 選挙管理委員会は、投票総数を確認し、有効投票数を確定する。
- 3 無効投票の判定は、前条に基づき選挙管理委員長が行う。
- 4 選挙管理委員は、開票結果を開票録に記載し、選挙管理委員長に報告する。

(当選者の決定)

第11条 選挙管理委員長は、開票録に基づき、当選者を決定する。

(選挙結果の告示)

第12条 選挙管理委員長は、前条の決定に基づき、当選者の確定後直ちに、本人に当選の告知を行い、
就任を要請する。
2 選挙管理委員長は、正会員に対し、前項の選挙結果及び当選者を本会ホームページ及び直近に
発行する理事会日より、会報に掲載し報告する。

(選挙録の作成及び保存)

第13条 選挙管理委員長は、選挙の経過及び結果を記載した選挙録を、開票録を添えて会長に提出する。
会長はこれを5年間保存しなければならない。

(選挙の無効)

第14条 選挙は、この規程に違反することがあって、選挙の結果に異動を生じるおそれがある場合に限
り無効とする。ただし、当選に異動を生ずるおそれのない者を区分することができるときは、
その者に限り当選の効力を失うことはない。

(雑則)

第15条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、理事会の決議を経て決定する。

付則 本規程は、平成26年5月11日より施行する。

〈名称および事務所〉

第1条 本会は栃木県眼科医会と称し、公益社団法人日本眼科医会（以下、「日本眼科医会」という）
と連携を持つ。
2 本会は事務所を会長の指定するところに置く。

〈構成〉

第2条 本会は栃木県内で眼科を標榜する医師にして、入会を希望し、且つ理事会の承認を得た者を以
て構成する。

〈目的〉

第3条 本会は医道の昂揚、医学向上、地域医療の充実に寄与し、併せて会員相互の親睦及び福祉の増
進を図ることを目的とし、その目的達成のために各種の事業を行う。

〈会員〉

第4条 本会に入会しようとする者は、別に定める入会の手続きをとらなければならない。
第5条 本会会員は別に定める会費及び負担金を納めなければならない。
第6条 会員が正当な業務上の権利を侵害され、又は名誉を毀損されたと認めるときは、これを本会に
申告し、理事会の調停又は裁定を求めることができる。
第7条 会員が本会会員としての義務を著しく怠り、又は本会の名誉を傷つけ、若しくは目的に反する
行為をしたときは、理事会の決議を経て、戒告または除名されることがある。

〈役員〉

第8条 本会に次の役員を置く。
(1) 会長 1名 (2) 副会長 2名 (3) 理事 若干名 (4) 監事 2名
2 会長及び副会長は理事とする。
第9条 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故により職務を遂行できない場合には、その職務を代行する。
3 理事は会長の旨を受けて会務する。
4 監事は会務を監査する。
第10条 各員の任期は2年とする。ただし重任を妨げない。
2 任期が満了しても後任者が職務を行うまでは、その職務を行わなければならない。
第11条 会長は総会において会員によって選出され、副会長、理事、監事は会長が指名、推薦又は囑託
する。
第12条 日本眼科医会代議員及び予備代議員は選挙において選出する。ただし本会役員との重任を妨げ
ない。
第13条 本会に名誉会長及び顧問を若干名を置くことができる。
2 名誉会長及び顧問は理事会の議を経て会長が委嘱し、任期は会長の任期とする。
第14条 会長が必要と認めるときは委員会を設けることができる。
〈会議〉
第15条 会議は定例総会、臨時総会、理事会及び委員会とする。
第16条 定例総会は毎年1回会長が召集する。臨時総会、理事会及び委員会は必要に応じて会長が召集
する。

- 第17条 総会は、会員の過半数が出席しなければ成立しない。但し、委任状を提出した者は出席とみなす。
- 2 総会の議長は、会議出席者の立候補により決定する。立候補者の無き場合には、会長が指名することができる。
- 第18条 総会の議決は出席会員の過半数の同意を要する。
- 第19条 次の事項は総会の承認又は議決を経なければならない。但し臨時急施を要する場合はこの限りではない。
- (1) 収支決算及び予算
 - (2) 事業報告及び事業計画
 - (3) 会費の賦課、徴収方法
 - (4) 会則の改正
 - (5) その他総会の決議を要すると理事会が認めた事項

〈会計〉

第20条 本会の経費は、入会金、会費、負担金、寄付金及びその他収入を以てあてる。

第21条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月に終わる。

〈雑則〉

第22条 会務執行上必要ある事項は別に施行細則を設けることができる。

第23条 本会則の変更は、総会の議決を経なければならない。

付則 本会則は、平成2年4月16日より施行する。

本会則は、平成24年4月15日一部改訂

本会則は、平成26年5月11日一部改訂

○ご投稿のお願い

会報編集委員会では。会員の先生方の原稿を募集しております。随筆・旅行記・ご意見・趣味の話など楽しい原稿をお待ちしております。原稿に写真を添えることも可能です。カラー写真で寄稿されてもモノクロ印刷になることがあります。あらかじめご了承ください。

○原稿送り先

〒327-0004 佐野市赤坂町948-1
大野眼科クリニック内
栃木県眼科医会報編集委員会
TEL 0283-23-0381
FAX 0283-21-1318
Eメール publicity-tochigi@swan.ocn.ne.jp
パソコンをお使いの方は、データでのご投稿を歓迎します。

○原稿〆切

常時受け付けております。
但し、第48号の〆切は5月末日です。

○栃木県眼科医会ホームページ

<http://www.tochigan.org>



広報 大野研一 (佐野市)

○編集後記

本号には栃木県眼科集談会の歴史を綴ったページがあります。集談会の設立に当時深く関わった早津尚夫先生が眼科臨床紀要に寄稿されたものですが、当時の事情を知る先生方が少なくなったこともありご厚意で当誌に転載させていただきました。そこには集談会設立の経緯、年2回の開催に至った理由そして集談会での一般演題とそれに続く特別講演など、毎回同じように行われるプログラム進行が実は昭和56年にその起源があったことは驚きでした。集談会の回数は67回を超えましたが今後回数を重ねるごとに大変貴重な資料となってゆくことに間違いありません。随筆欄では斎藤哲也先生が戦国時代の足跡をたどる読み物をお寄せ下さいました。歴史・戦国ファン必見です。

お忙しい中、各種委員会報告、学術欄に原稿をお寄せ下さった会員の皆様のおかけを持ちまして第47号栃木県眼科医会報が出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

最後に、栃木県眼科医会の進歩、発展に多大な寄与、貢献をされた稲葉光治先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。(大野研一)

編集委員

委員長 大野研一

委員 小幡博人

後藤憲仁

旭英幸

大柳静香

栃木県眼科医会報 (第47号)

発行日：平成26年6月30日

発行所：栃木県眼科医会

〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町9-29-4

旭眼科内科クリニック内

発行人：栃木県眼科医会

原裕

印刷所：ヤスノプランニング

〒321-0151 宇都宮市西川田町1092

認証番号 第222AFBZX00032000号
販売名 イーゼースベック

EzSpec

ディスポ開瞼器

PMMA製の減面済みディスポーザブル開瞼器です。
睫毛を広範囲にカバーし、透明のため状態が容易に確認できます。
また、アーム径によって開瞼力が異なるソフト・ハードの
2種から選択が可能です。

モデル：TG-2
(ソフトタイプ)

モデル：TG-4
(ハードタイプ)

HOYA Surgical Optics

HOYA株式会社 メディカル事業部

お問い合わせ先：関東営業所

〒164-8545 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス 6F
TEL 03-5913-2341

HOYA
SURGICAL OPTICS



炭酸脱水酵素阻害剤 / β -遮断剤配合剤
緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

コソプト® 配合点眼液

COSOPT® Ophthalmic Solution

(ドルゾラミド塩酸塩 / チモロールマレイン酸塩点眼液)

処方せん医薬品：注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

本剤のご使用にあたり、【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌を含む使用上の注意】等詳細については、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 [資料請求先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12
北の丸スクエア
http://www.msdc.co.jp/



発売元 [資料請求先]

参天製薬株式会社

〒530-8552 大阪市北区大深町4-20
http://www.santen.co.jp/

2013年6月作成
CST13AD104-0618



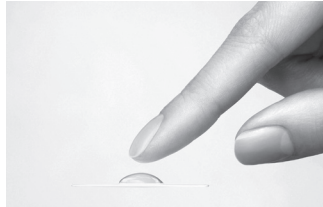
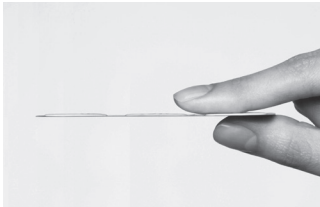
Magic

1day Menicon Flat Pack



www.magic.menicon.jp

約1mm。驚きのうすさ。誰も見たことのない1日使い捨てコンタクトレンズが誕生しました。



※10シート・30枚入り

※画像はイメージです。

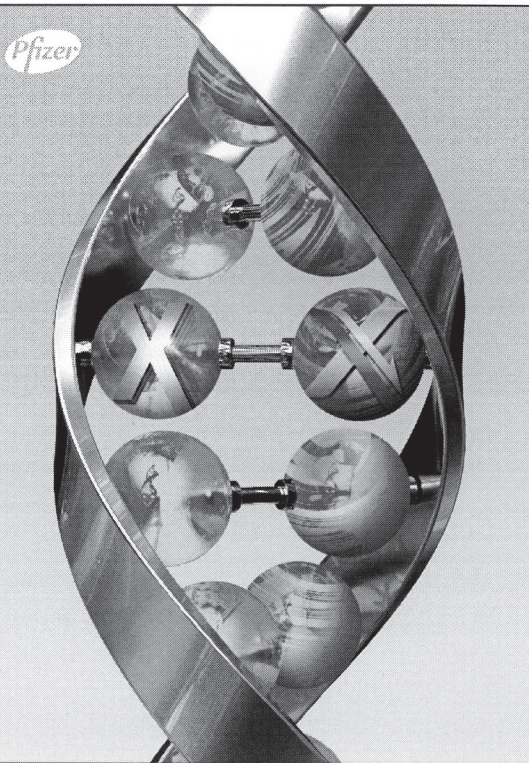
※「Magic」は包装から派生した製品ブランドであり、コンタクトレンズの視覚的機能・効果ではありません。

お願い：コンタクトレンズは高度管理医療機器です。必ず眼科医の指示を受けてお求めください。●使用時間・期間を正しくお守りください。●取扱方法を守り、正しくご使用ください。●眼の検査は必ずお受けください。●少しでも異常を感じたら直ちに眼科医の検査をお受けください。●添付文書をよく読み、正しくご使用ください。

販売名：メニコン1DAY フラットバック 医療機器承認番号：22100BZX01098000

株式会社メニコン 宇都宮営業所

〒321-0953 宇都宮市東郷郷4丁目1-20 山口ビル6階 TEL(028)635-9655 http://www.menicon.co.jp



プロスタグランジンF_{2α}誘導体
緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

キサラタン®点眼液 0.005%

Xalatan® Eye Drops 0.005%

ラタノプロスト点眼液

処方せん医薬品：注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

ザラカム® 配合点眼液

Xalacom® Combination Eye Drops

ラタノプロスト・チモロールマレイン酸塩配合

処方せん医薬品：注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

資料請求先：製品情報センター

2012年12月作成



眼科手術補助剤、硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤 <トリアムシノロンアセトニド>製剤
処方せん医薬品（注意 — 医師等の処方せんにより使用すること） 薬価基準収載

マキュエイド® 硝子体内注用40mg

MaQaid® intravitreal injection 40mg

本剤の「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細につきましては製品添付文書をご参照下さい。

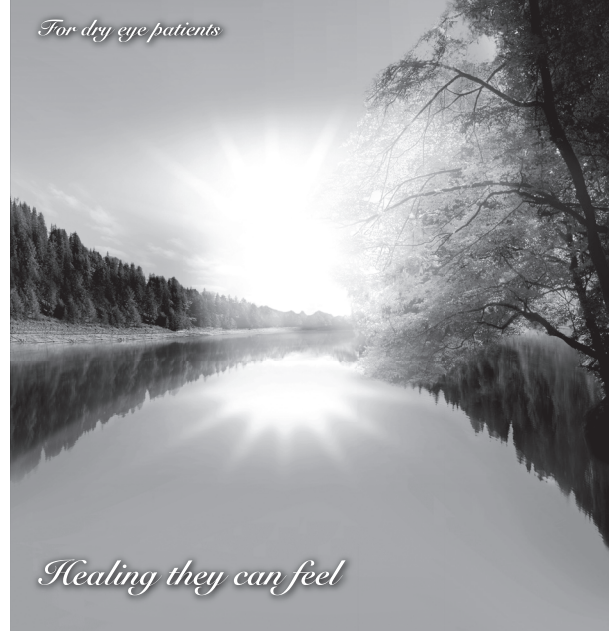
※資料請求先 わかもと製薬株式会社 医薬学術部

製造販売元
(輸入品)



わかもと製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号

2014.4.K



For dry eye patients

Healing they can feel

ドライアイ治療剤（ムチン産生促進剤）

薬価基準収載

ムコスタ点眼液UD2%

Mucosta® ophthalmic suspension UD2%

レバミビド懸濁点眼液



製造販売元
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先
大塚製薬株式会社 医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

資料請求先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

◇その他の使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

〈'13.05作成〉

PF *Preservative Free*

防腐剤を含まないマルチドーズ点眼薬

健保適用

緑内障・高眼圧症治療剤

ラタノプロストPF点眼液 0.005% 日点、
ラタノプロスト点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

イソプロピルウノプロストン
PF点眼液 0.12% 日点、
イソプロピル ウノプロストン点眼液

持続性 緑内障・高眼圧症治療剤

レボプロロール塩酸塩 PF点眼液 0.5% 日点、
レボプロロール塩酸塩点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

チモレート®PF点眼液 0.25%・0.5%
チモロールマレイン酸塩点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

ブロキレート®PF点眼液 1%・2%
カルテオロール塩酸塩点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

ニブラジロールPF点眼液 0.25% 日点、
ニブラジロール点眼液

角結膜上皮障害治療剤

ヒアルロン酸ナトリウム
PF点眼液 0.1% 日点、
精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液

アレルギー性結膜炎治療剤

トラメラス®PF点眼液 0.5%
トラニラスト点眼液

アレルギー性結膜炎治療剤

クモロール®PF点眼液 2%
クロモグリク酸ナトリウム点眼液

アレルギー性結膜炎治療剤

ケトチフェンPF点眼液 0.05% 日点、
ケトチフェンマル酸塩点眼液

眼科用非ステロイド性抗炎症剤

ジクロスター®PF点眼液 0.1%
ジクロフェナクナトリウム点眼液

眼科・耳鼻科用合成副腎皮質ホルモン製剤

リンベタPF眼耳鼻科用液 0.1%
ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム眼耳鼻科用液

※効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

【資料請求先】  製造販売元 **日本点眼薬研究所** 営業本部学術部学術課 名古屋市南区桜本町40番地の2 〒457-0038 （2011年6月作成）



TECNIS® Toric IOL

軸ずれを最小限に

TECNIS® T
TORIC ASPHERIC IOL TORIC

販売名：テクニストリーク ワンピース
医療機器承認番号：225008ZX00363000

エイエムオー・ジャパン 株式会社 東京営業所
〒108-6306 東京都港区三田3-5-27 住友不動産 三田ツインビル 西館6F
TEL.03-5444-2541 FAX.03-5444-2542

TECNIS is trademark owned by or licensed to Abbott Laboratories, its subsidiaries or affiliates.
©2014 Abbott Medical Optics Inc.

 **Abbott**
Medical Optics

T069AZCT1-14Q10012

Aspheric[®] UV AIR

アイミーアスフェリックUV・エア



見える喜びを大切にしたい
Aime

ひとみにかろやか、
エア・フィーリングレンズ。

医療機器承認番号20400BZZ00342A09

スッキリクリアな視界
紫外線カット
つけごこち快適、エアな感覚

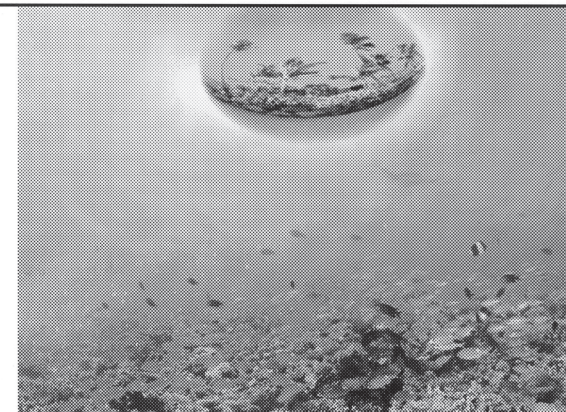
アイミーコール
0120-131-469

全国の取扱い施設をご紹介します。この機会に是非お試しください。

くお願い>

●コンタクトレンズは高度管理医療機器です。必ず眼科医の検査・指導を受けてお求めください。 ●取扱い方法を守って正しく使用してください。
●調子が良くても眼科医による定期検査を必ず受けてください。 ●少しでも異常を感じたら直ちに眼科医の検査を受けてください。 ●取扱い説明書は必ず熟読し内容をよく理解してください。

アイミー株式会社
<http://www.aime.jp>



持続性 緑内障・高眼圧症治療剤

ミロル[®] 点眼液 0.5%

MIROL[®] (レボブノロール塩酸塩点眼液)

●薬価基準収載



●効能・効果、用法・用量、禁忌、
使用上の注意等の詳細は、添付
文書をご参照ください。

〔製造販売元〕 杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

発売元 〔資料請求先〕

科研製薬株式会社
〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28-8

(2013年5月作成) EMR02DK



CooperVision[®]
Live Brightly.[™]

「見る」という日々の経験を、 もっと素敵なものに。

この思いを大切に、アイケアプロフェッショナルの皆様にご評価いただける
ユニークでより良いコンタクトレンズの開発にチャレンジを続けています。

Proclear[®] 1 day
プロクリア[®] ワンデー



承認番号 220000201462000 (1箱30枚入)
販売名 プロクリア ワンデー

Biofinity[®]
バイオフィニティ[®]



承認番号 222000200714A01 (1箱6枚入)
販売名 バイオフィニティ

コンタクトレンズの処方に役立つ情報をご提供させていただきます。

クーパービジョン プロフェッショナル 検索

・コンタクトレンズは高度管理医療機器です。眼科医による検査、処方をお願いします。特に異常を感じなくても定期検査は必ず受けるようにご指導ください。
・患者さんがコンタクトレンズを使用する前に、必ず添付文書をよく読み、取扱い方法を守り、正しく使用するようにご指導ください。

クーパービジョン・ジャパン株式会社
www.coopervision.jp



〔薬価基準収載〕

広範囲抗菌点眼剤

トスフロ[®]点眼液 0.3%

処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

TOSUFLO[®] Ophthalmic Solution 0.3%
トスフロキサシントシル酸塩水和物点眼液

【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌】を含む
【使用上の注意】等については、製品添付文書を
ご参照ください。

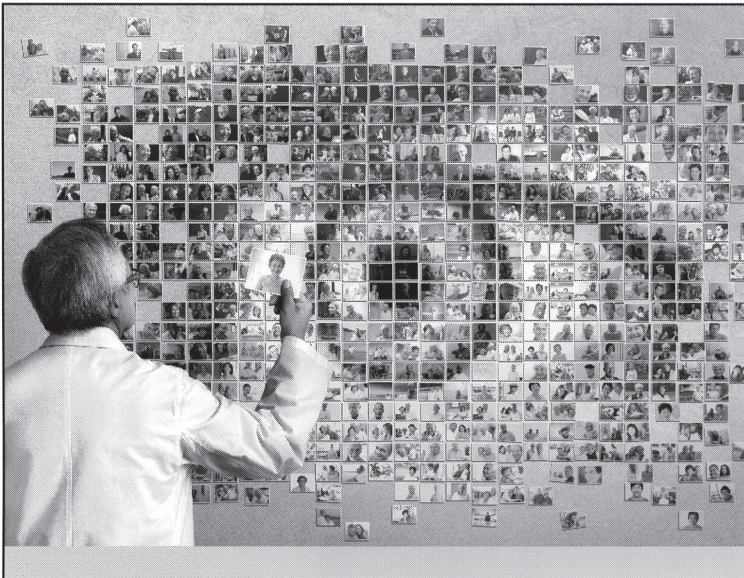


製造販売元
日東メディック株式会社
東京都富士市八尾町保内1-14-1

〔資料請求先〕 日東メディック株式会社 おくすり相談窓口
〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号

2011年4月作成

® 登録商標



眼科用 VEGF^{阻害剤}

薬価基準収載

ルセンティス[®] 硝子体内注射液
2.3mg/0.23mL
(ヒト化抗 VEGF モノクローナル抗体 Fab 断片)

劇薬 処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること

LUCENTIS[®] ラニビズマブ (遺伝子組換え) 硝子体内注射液

注1) VEGF: vascular endothelial growth factor (血管内皮増殖因子)

NOVARTIS
PHARMACEUTICALS

Alcon

a Novartis company



効能・効果、用法・用量、
禁忌を含む使用上の注意等
については、製品添付文書
をご覧ください。

製造販売 (資料請求先)
ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

NOVARTIS DIRECT
0120-003-293
受付時間: 月～金 9:00～17:30
(祝祭日及び弊社休日を除く)
www.novartis.co.jp

提携先
日本アルコン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7

2014年3月作成



よりよい視界の提供で、
人々の暮らしを豊かに。

アルコンの使命。それは、人々によりよい視界を提供し、豊かな暮らしに
貢献することです。そのために、サージカル、ビジョンケア、医薬品において
幅広い製品を提供するとともに、24,000人の社員が医療従事者の方々と協力し、
世界各地で待ち望まれているアイケア製品の開発に取り組んでいます。
暮らしを豊かに変える、革新的な製品を皆様のもとへ。
アイケアの未来はアルコンが切り拓いていきます。

www.alcon.co.jp

Alcon

a Novartis company



コンフォートなままに
より確かな眼圧下降、涙液に近いpH

AZORGA[®]

本剤には投与期間制限は
定められていません。

炭酸脱水酵素阻害剤 / β 遮断薬配合
緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

アゾルガ[®] 配合懸濁性点眼液
プリンゾラミド / チモロールマレイン酸塩配合懸濁性点眼液

処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 気管支喘息、又はその既往歴のある患者、気管支痙攣、重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者 [β -受容体遮断による気管支平滑筋収縮作用により、喘息発作の誘発・増悪がみられるおそれがある。]
- (2) コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(II、III度)、心原性ショックのある患者 [β -受容体遮断による陰性変時・変力作用により、これらの症状を増悪させるおそれがある。]
- (3) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (4) 重篤な腎障害のある患者 [使用経験がない。プリンゾラミド及びその代謝物は、主に腎より排泄されるため、排泄遅延により副作用があらわれるおそれがある。]

【効能・効果】

次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合: 緑内障、高眼圧症

<効能・効果に関連する使用上の注意> 単剤での治療を優先すること。

【用法・用量】

1回1滴、1日2回点眼する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 肺高血圧による右心不全のある患者 [β -受容体遮断による陰性変時・変力作用により、症状を増悪させるおそれがある。]
- (2) うっ血性心不全のある患者 [β -受容体遮断による陰性変時・変力作用により、症状を増悪させるおそれがある。]
- (3) 糖尿病性ケトアシドーシス及び代謝性アシドーシスの患者 [アシドーシスによる心筋収縮力の抑制を増強するおそれがある。]
- (4) コントロール不十分な糖尿病のある患者 [低血糖症状をマスクすることがあるので血糖値に注意すること。]
- (5) 肝障害のある患者 [使用経験が少なく、安全性は確立していない。]
- (6) 角膜障害(角膜内皮細胞の減少等)のある患者 [安全性は確立していない。角膜内皮細胞数の減少により角膜浮腫の発現が増加する可能性がある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は1mL中にプリンゾラミド10mgとチモロールマレイン酸塩6.8mg(チモロールとして5mg)を含む配合点眼液であり、プリンゾラミドとチモロールマレイン酸塩双方の副作用が発現するおそれがあるため、適切に本剤の使用を検討すること。
- (2) 本剤は点眼後、全身的に吸収されるため、スルホンアミド系薬剤又は β -遮断剤全身投与時と同様の副作用があらわれるおそれがあるので注意すること。重篤な副作用や過敏症の兆候があらわれた場合には、投与を中止すること。
- (3) 縮瞳剤からチモロールマレイン酸塩製剤に切り替えた場合、縮瞳作用の消失に伴い、屈折調整を必要とすることがあることから、本剤投与の際も注意すること。
- (4) 急性閉塞隅角緑内障患者に対して本剤を用いる場合には、薬物治療以外に手術療法などを考慮すること。

- (5) 本剤の点眼後、一時的に目がかすむことがあるので、機械類の操作や自動車等の運転には注意させること。

3. 相互作用

本剤の配合成分であるプリンゾラミドは、主としてCYP3A4によって代謝され、またCYP2A6、CYP2B6、CYP2C8、CYP2C9によっても代謝される。一方の配合成分であるチモロールは、主としてCYP2D6によって代謝される。

【併用注意】(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アドレナリン ジベチリン塩酸塩	散瞳作用が助長されたとの報告がある。	機序不明
カテコールアミン 枯渇剤: レセルピン等	交感神経系に対し、過剰の抑制を来すことがあり、低血圧、徐脈を生じ、眩暈、失神、起立性低血圧を起こすことがある。	カテコールアミンの枯渇を起こす薬剤は、 β -遮断作用を相加的に増強する可能性がある。
β -遮断剤(全身投与): アテノロール プロプラノロール 塩酸塩メトプロロール	眼圧下降あるいは β -遮断剤の全身的な作用が増強されることがある。	作用が相加的にあらわれることがある。
カルシウム拮抗剤: ベラパミル塩酸塩 ジルチアゼム塩酸塩	房室伝導障害、左室不全、低血圧を起こすおそれがある。	相互に作用が増強される。
ジギタリス製剤: ジゴキシン ジギトキシン	心刺激伝導障害(徐脈、房室ブロック等)があらわれるおそれがあるため、心機能に注意する。	相加的に作用(心刺激伝導抑制作用)を増強させる。
CYP2D6 阻害作用 を有する薬剤: キニジン 選択的セロトニン 再取り込み阻害剤	β -遮断作用(例えば心拍数減少、徐脈)の増強が報告されている。	これらの薬剤はチモロールの代謝酵素であるP450(CYP2D6)を阻害し、チモロールの血中濃度が上昇する可能性がある。
炭酸脱水酵素阻害剤 (全身投与): アセタゾラミド等	炭酸脱水酵素阻害剤の全身的な作用に対して相加的な作用を示す可能性があるため、異常が認められた場合には、投与を中止すること。	作用が相加的にあらわれる可能性がある。
アスピリン (大量投与)	本剤を大量のアスピリンと併用すると、双方又は一方の薬剤の副作用が増強されるおそれがあるため、異常が認められた場合には、投与を中止すること。	アスピリンは炭酸脱水酵素阻害剤の血漿蛋白結合と腎からの排泄を抑制し、炭酸脱水酵素阻害剤は血液のpHを低下させ、サリチル酸の血漿から組織への移行を高める可能性がある。

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

4. 副作用

- 国内で実施された第Ⅲ相臨床試験において、副作用は432例中46例(10.6%)に認められた。主な副作用は眼刺激15例(3.5%)、点状角膜炎14例(3.2%)、味覚異常6例(1.4%)であった。
- (1) 重大な副作用 次のような副作用が発現するおそれがあるため、症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
 - 1) 眼類天疱瘡(頻度不明): 結膜充血、角膜上皮障害、乾性角結膜炎、結膜萎縮、睫毛内反、眼瞼眼珠癒着等が発現することがある。
 - 2) 気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全(いずれも頻度不明)
 - 3) 心ブロック、うつ血性心不全、脳虚血、心停止、脳血管障害(いずれも頻度不明)
 - 4) 全身性エリテマトーデス(頻度不明)

●その他詳細は製品添付文書をご参照ください。

●禁忌を含む使用上の注意の改訂には十分ご注意ください。

Alcon

a Novartis company

製造販売元(輸入元)

(文献請求先・製品情報お問い合わせ先: メディカル統括部学術情報部 0120-825-266)

日本アルコン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7

PMP232-1

201404

© 2014 Novartis

コンタクトレンズケアに新システム! これまでにない 除菌力!

昨今、コンタクトレンズ装用者における眼障害が大きな問題となっています。
その原因は、消毒剤自体の消毒力不足や不十分な洗浄による汚れの
蓄積によるところが大きいと言われています。オフテックスが推奨する
ポビドンヨードとタンパク分解酵素を組み合わせた製品は、
これらの眼障害低減につながるものと考えています。

雑菌や汚れから徹底ガードする「ポビドンヨード」シリーズ

O₂・ハードレンズ用

O₂・ハードレンズ
ケアで初めて
「ポビドンヨード」配合

O₂・ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存剤

O₂SEPT.
オーツーセプト®



ソフトレンズ用

消毒+洗浄+タンパク除去+すすぎ
充実の4機能!
ハイスペックケア

ソフトコンタクトレンズ用
消毒・洗浄システム

FIRST CARE
ファーストケアEX



販売名：バイオクレンファーストケアEX 医薬品特許

日本の瞳に、日本製のコンタクトケアを。

株式会社 オフテックス 神戸市中央区港島南町5-2-4
www.ophtecs.co.jp
オフテックスお客様相談室 ☎0120-021094
受付：月～金（祝日は除く）9:00～17:00



Trust and Safety

「TS」マークには信頼と安全の思いが込められています。

テイカ製薬株式会社 眼科製品ラインナップ

持続性 緑内障・高眼圧症治療剤

チモロールマレイン酸塩持続性点眼液 [薬価基準収載]

チモロールXE点眼液 0.25%・0.5%「TS」



緑内障・高眼圧症点眼剤

ニブラジロール点眼液

ニブラノール点眼液 0.25%

ラタノプロスト点眼液

ラタノプロスト点眼液 0.005%「TS」



チモロールマレイン酸塩点眼液

チモロール点眼液 0.25%・0.5%「ティカ」

イソプロピルウノプロスト点眼液

イソプロピルウノプロスト点眼液 0.12%「TS」



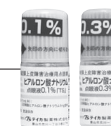
角結膜上皮障害治療用点眼剤

精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液

アイケア点眼液 0.1%・0.3%

精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液

ヒアルロン酸ナトリウム点眼液 0.1%・0.3%「TS」



抗アレルギー点眼剤

クロモグリク酸ナトリウム点眼液

クロモリーク点眼液 2%

日本薬局方
トラニラスト点眼液

トラニラスト点眼液 0.5%「TS」



日本薬局方
ペミロラストカリウム点眼液

ペミリドン点眼液 0.1%

レボカバステチン塩酸塩点眼液

レボカバステチン点眼液 0.025%「TS」



広範囲抗菌点眼剤

日本薬局方
レボフロキサシン点眼液

レボフロキサシン点眼液 0.5%・1.5%「TS」

合成副腎皮質ホルモン製剤

デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム点眼・点耳・点鼻液

ティカゾン点眼・点耳・点鼻液 0.1%



効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



テイカ製薬株式会社

Teika Pharmaceutical Co. Ltd.

〒930-0982 富山県富山市荒川1-3-27 TEL.076-431-1717 FAX.076-431-6707
http://www.teika.co.jp [資料請求先 テイカ製薬株式会社 学術課]



Woofy(ウーフィー)
テイカ製薬イメージキャラクター

2014.01

世界初

シリコーンハイドロゲル素材の 1日使い捨てコンタクトレンズ



ワンデー アキュビュー® トゥルーアイ®

次世代素材のシリコーンハイドロゲルと
1日使い捨てレンズのメリットが融合したコンタクトレンズ。
より自然で健康な眼へ。

眼の健康に、大切な4つの要素をひとつに



より高い酸素透過性^{*3,4}

次世代レンズ素材「シリコーンハイドロゲル^{*2}」採用
従来レンズに比べ「より高い酸素透過性^{*3,4}」を実現。
裸眼開眼時の98%の酸素^{*5}が眼に届きます。



乾燥感を軽減

「ハイドラクリア®ワン・テクノロジー^{*6}」採用
シリコーン素材に親水性高分子^{*7}を配合し、
レンズ全体の水分保持力を高めました。



汚染リスクを軽減

毎日新しいレンズに交換するから清潔。
レンズケアは不要。ケア用品によるトラブルを
回避することができます。



紫外線カット

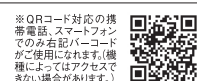
ワンデー アキュビュー® トゥルーアイ®は、
眼の健康にも影響を及ぼすといわれている
紫外線B波を約99%、A波を約96%カット^{*8}します。

※装着感には個人差があります。◎UV吸収剤を配合したコンタクトレンズは、UV吸収サングラスなどの代わりにはなりません。
*1 Johnson & Johnson社は世界で初めてシリコーンハイドロゲル素材を1日使い捨てタイプに採用しました。Johnson & Johnson 関連会社により世界68カ国ですでに発売されています。(2013年1月時点) *2 レンズ素材名:ナラ
フィルコンA *3 弊社従来製品(HEMAベース素材)との比較 *4 酸素透過率(Dk/L値):測定条件35℃(-3.00Dの場合) Polarographic method, boundary and edge corrected, 118×10⁻⁹(cm・mL O₂/sec・mL・mmHg)
*5 酸素流量率=コンタクトレンズ装着時に角膜に届く酸素の量/裸眼時に角膜に届く酸素の量 A Model of Oxygen Flux: Brennan 2001 (開眼時)に基づくレンズ中心部における測定 *6 弊社独自のテクノロジー名 *7 PVP
配合 *8 Johnson & Johnson VISION CARE, INC.データより J&J KK調べ

◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です。眼科医による検査・処方をお願いします。特に異常を感じなくても定期検査は必ず受けるように
ご指導ください。◎患者さんがコンタクトレンズを使用する前に、必ず添付文書をよく読み、取扱い方法を守り、正しく使用するようにご指導ください。

詳しい製品情報についてはこちらをご覧ください。

ホームページ <http://acuvue.jnj.co.jp>
パソコン、携帯電話、スマートフォンでご利用いただけます。



ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー
東京都千代田区西神田3丁目5番2号 販売名:ワンデー アキュビュー トゥルーアイ
承認番号: 22200BZX00226000 (登録商標 ©J&J KK 2014)

Johnson & Johnson
JOHNSON & JOHNSON K.K.
VISION CARE COMPANY

ワンデーカテゴリー中 最大の度数範囲を実現！

※2014年4月現在・日本国内で



シード 1dayPure

シード ワンデーピュア

うるおいプラス



承認番号: 22100BZX00759000



天然の
うるおい成分をプラス



国内一貫生産で
安心をお届け



瞳を守る
UVカット付き

ベースカーブ	8.8mm	直径	14.2mm
度数範囲	-0.50D ~ -6.00D (0.25DSTEP) -6.50D ~ -16.00D (0.50DSTEP)		
1箱枚数	32枚		



株式会社 シード 本社

〒113-8402 東京都文京区本郷2-40-2

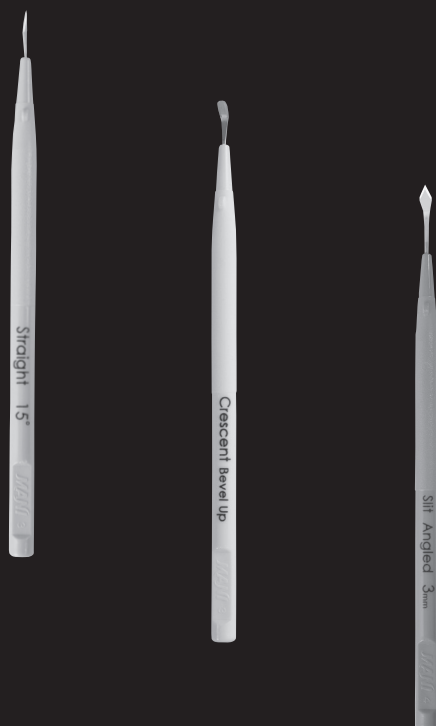
TEL 03-3813-1111(代)



あなたの見えるが、誰かの「見える」へ...
シードはアイメイト(盲導犬)育成を応援しています。

シードホームページ
<http://www.seed.co.jp>





The Ultimate in Sharpness 究極の切味

マニーハードファイバーステンレスによるクロスラップエッジが、究極の切味を生み出します。
The crosslapped edge made of MANI's original hard fiber stainless steel produces the ultimate in sharpness.



世界一の品質を世界のすみずみへ

MANI®

MANI®
MANI, INC. マニー株式会社

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
お問い合わせ先 【眼科営業課】 TEL 028-667-9911
FAX 028-667-6177

8-3 KIYOHARA INDUSTRIAL PARK, UTSUNOMIYA, TOCHIGI, 321-3231, JAPAN
Phone: +81286677565 Fax: +81286676177